

常陸大宮駅西交流拠点基本計画



令和4年3月

常陸大宮市

目次

1	計画策定にあたって	
	計画の背景と目的	1
2	現況把握と計画の位置付け	
	(1) 計画地の特性	2
	(2) 常陸大宮駅周辺の現状	6
	(3) 上位・関連計画の位置付け	12
3	交流拠点整備の経緯	
	(1) 常陸大宮駅西交流拠点化構想	22
	(2) 常陸大宮市のまちづくりと交流拠点の関係性	22
	(3) 交流拠点の整備方針	23
	(4) 公園の分類と現状	24
4	計画内容の検討及び設定	
	(1) 基本方針の設定	26
	(2) 常陸大宮駅西交流拠点の整備コンセプト及び機能	27
	(3) 整備コンセプトの具体的イメージ	28
5	基本計画図の検討・作成	
	(1) 施設計画	33
	(2) 基本計画図	37
	(3) イメージパース	42
6	計画策定の経緯	
	常陸大宮駅西交流拠点基本計画等の策定経緯	45
7	市民意向の把握	
	(1) 第1回ワークショップ「公園づくりワークショップ」	46
	(2) 第2回ワークショップ「子育て世代にやさしいカフェ」	55
	(3) 社会実験「インクルーシブ遊具体験・照明実証実験」	62
8	民間活力導入に関するサウンディング調査	69
9	各種委員会	
	(1) 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会	71
	(2) 常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会	79
10	交流拠点整備の進め方	81

1 計画策定にあたって

計画の背景と目的

本市では、都市機能の集約による持続可能な都市の実現及び公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現を目指し、JR水郡線常陸大宮駅を中心とした総合的な「まちづくり事業」である常陸大宮駅周辺整備事業を進めています。

この常陸大宮駅周辺整備事業の主要な事業の一環として、若者世代や子育て世代が住み続けたいと思うような魅力ある街並みや子どもを安心して育てることができる環境を実現するため、駅西側の市有地において、常陸大宮駅西交流拠点(「あたらしい公園」)を計画しています。

本計画は、新駅舎、西口駅前広場、駅西側に集積する行政施設などと連携し、子育て支援や多世代の市民交流の場となる公園を整備するために策定するものです。

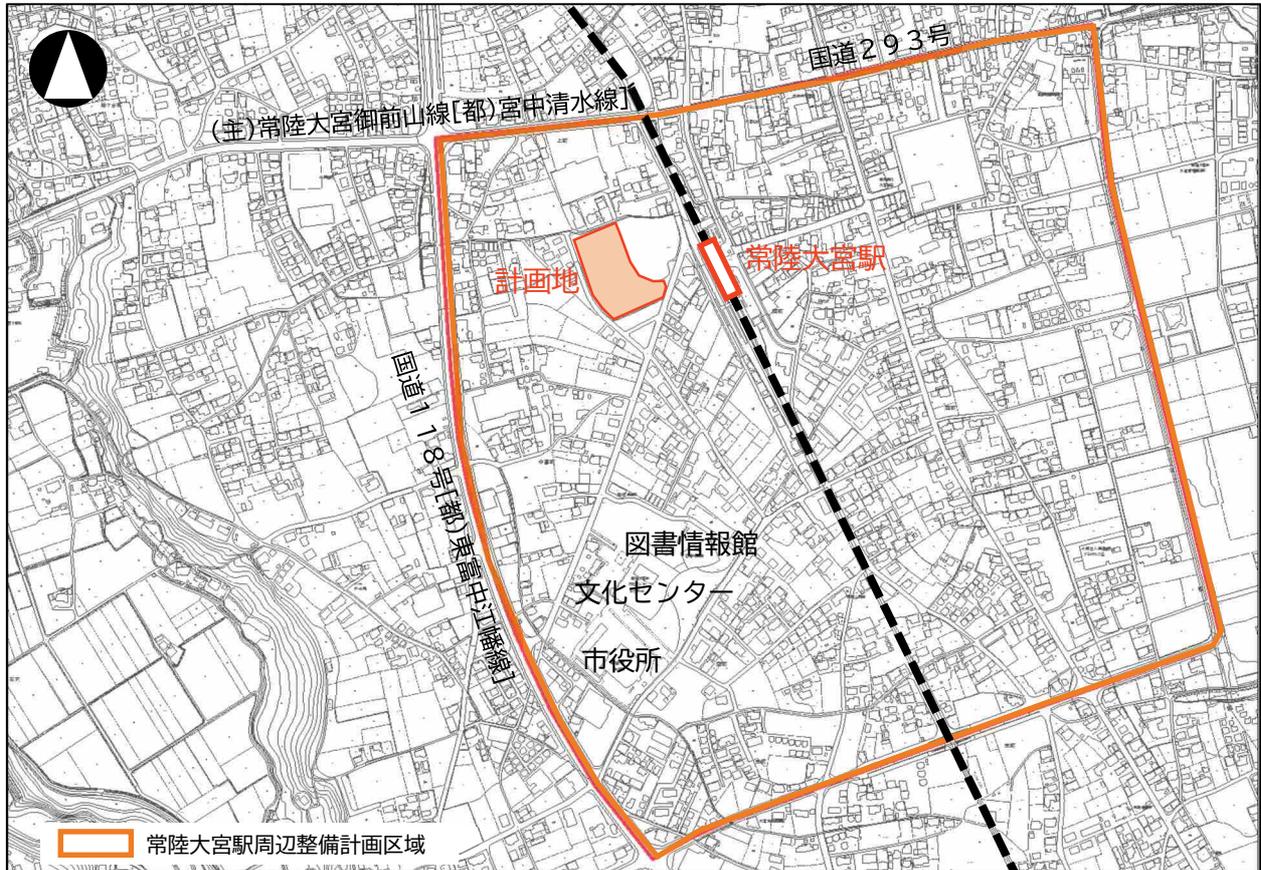


2 現況把握と計画の位置付け

(1) 計画地の特性

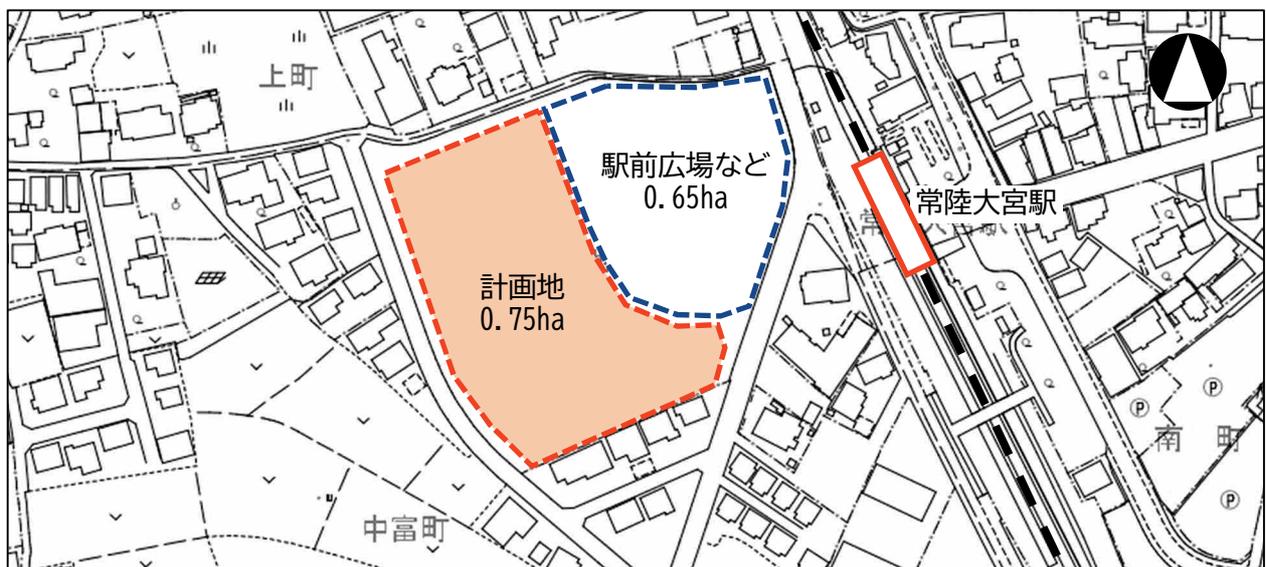
1) 計画地の位置

計画地は常陸大宮市中富町地内、JR水郡線常陸大宮駅の西側に位置しています。



2) 計画地の概要

計画地は常陸大宮駅西市有地の面積約1.4ha(14,000㎡)のうち、駅前広場や区画道路などの整備面積約0.65ha(6,500㎡)を除く、約0.75ha(7,500㎡)が想定されています。



3) 計画地の周辺状況

計画地はほぼ平坦であり、南側は既存の住宅地と隣接し、北側及び西側は市道を挟んで住宅地が整備されています。

西口駅前広場、都)常陸大宮駅西口通り線及び周辺道路の整備により、常陸大宮駅西口周辺の狭あい道路が解消され、国道118号[都)東富中江幡線]及び主要地方道常陸大宮御前山線[都)宮中清水線]と有効に接続されることによって、利便性やアクセス性の向上が期待されます。また、市役所や文化センター・図書情報館などの行政施設と駅周辺施設との連携が拡大され、中心市街地として機能の充実が期待されます。

■ 計画地周辺状況



2 現況把握と計画の位置付け

4) 計画地の現況

■ 現況写真撮影位置図



■ 計画地の現況写真



①南側から見る駅西口前の道路



②駅西口前から見る計画地東側



③計画地南側の隣接住宅地



④計画地西側の道路と住宅地

2 現況把握と計画の位置付け



⑤計画地南側隣接住宅地との境界



⑥西側道路から見る計画地



⑦西側道路から見る計画地と南側住宅



⑧計画地西側の道路



⑨線路側から見る計画地北側



⑩北側から見る駅西口前の道路



⑪北側から見る計画地



⑫計画地内の既存井戸

2 現況把握と計画の位置付け

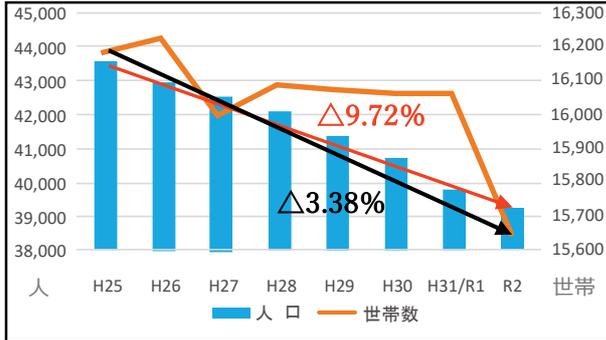
(2)常陸大宮駅周辺の現状

1)常陸大宮駅周辺の人口及び世帯数

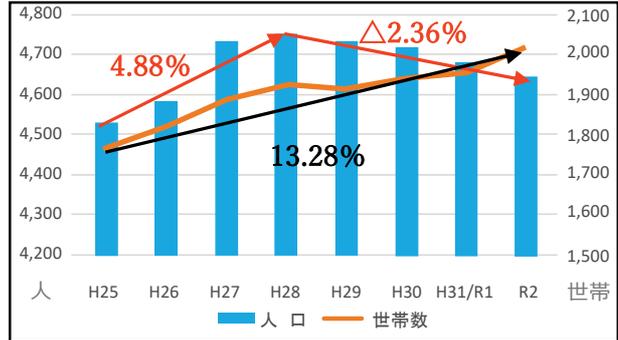
人口の動向について、市全体では平成25年から令和2年にかけて約9.72%減少しています。また、常陸大宮駅周辺整備計画区域では平成28年までに約4.88%増加し、平成28年から令和2年にかけて約2.36%減少していることが分かります。

世帯数の状況については、市全体では約3.38%減少していますが、常陸大宮駅周辺整備計画区域では約13.28%増加しており、世帯数増加が顕著な状況にあります。

■常陸大宮市：人口及び世帯数の推移



■常陸大宮駅周辺整備計画区域：人口及び世帯数の推移



■常陸大宮市

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
人口(人)	43,496	42,963	42,587	42,018	41,342	40,747	39,904	39,267
増減率(%)		-1.23	-0.88	-1.34	-1.61	-1.44	-2.07	-1.60
世帯数(戸)	16,191	16,234	16,005	16,091	16,087	16,079	16,071	15,643
増減率(%)		0.27	-1.41	0.54	-0.02	-0.05	-0.05	-2.66

増減率は、前年比

(出典：常陸大宮市常住人口)

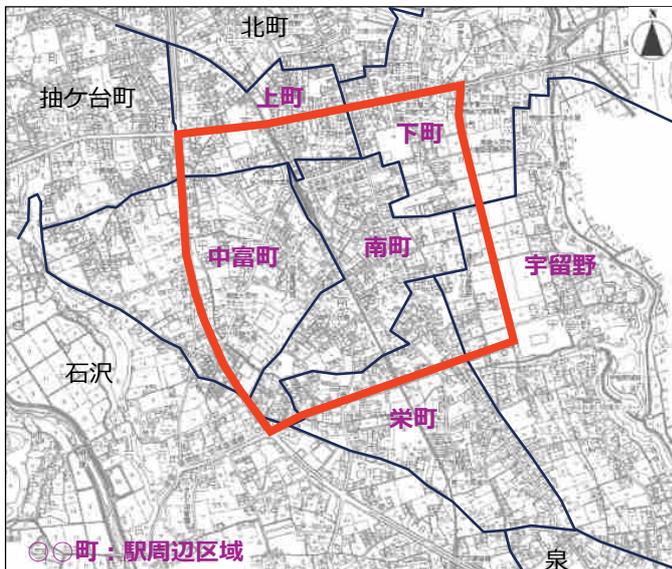
■常陸大宮駅周辺整備計画区域

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
人口(人)	4,532	4,582	4,728	4,753	4,727	4,716	4,686	4,641
増減率(%)		1.10	3.19	0.53	-0.55	-0.23	-0.64	-0.96
世帯数(戸)	1,777	1,817	1,884	1,921	1,913	1,945	1,976	2,013
増減率(%)		2.25	3.69	1.96	-0.42	1.67	1.59	1.87

増減率は、前年比

(出典：常陸大宮市常住人口)

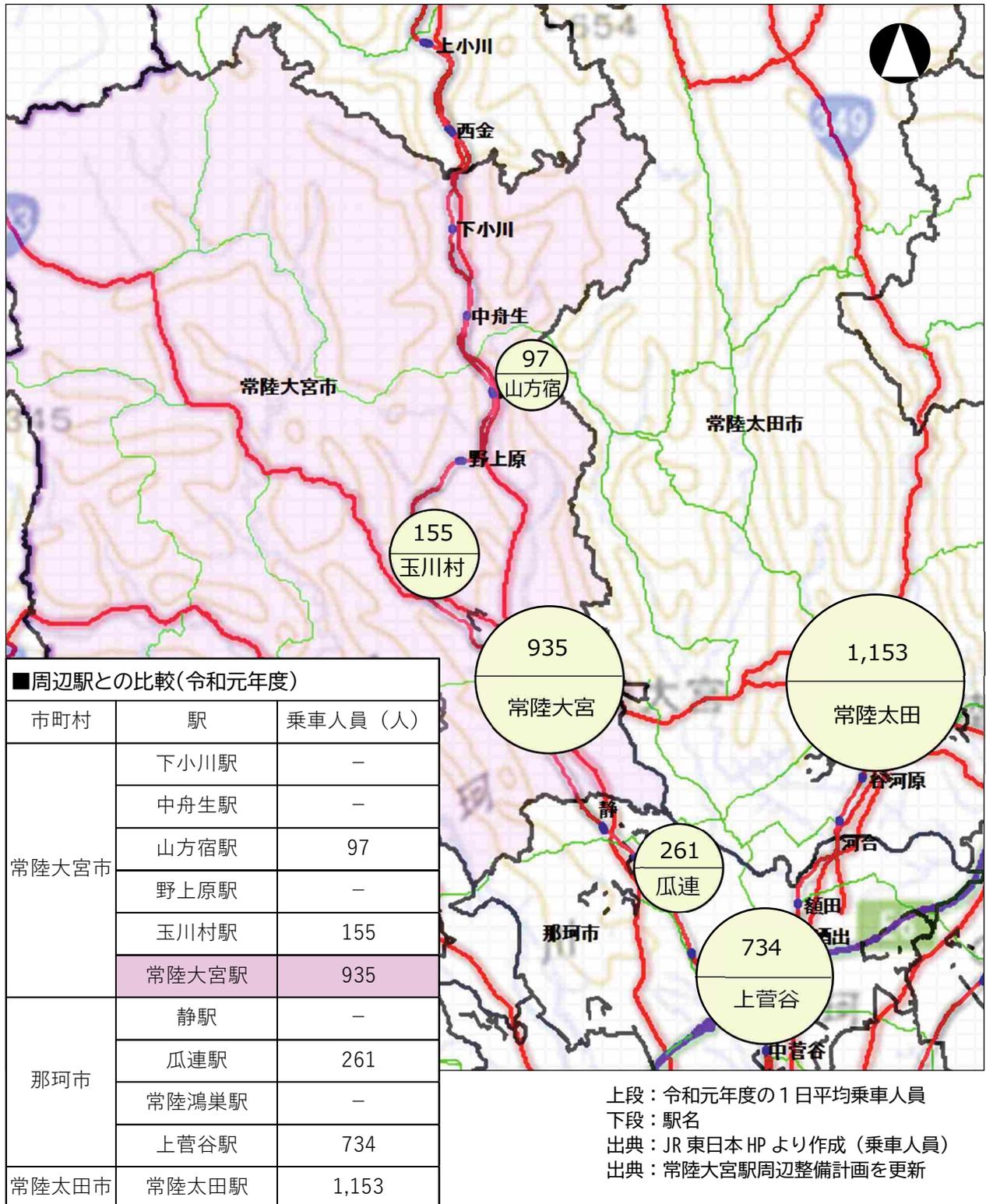
■町割図



常陸大宮駅周辺整備計画区域

2)常陸大宮駅の乗車人員の状況

令和元年度のJR水郡線常陸大宮駅の乗車人員は、1日平均935人であり、近隣駅の乗車人員を比較すると、常陸太田駅に次いで2番目に多い状況となっています。

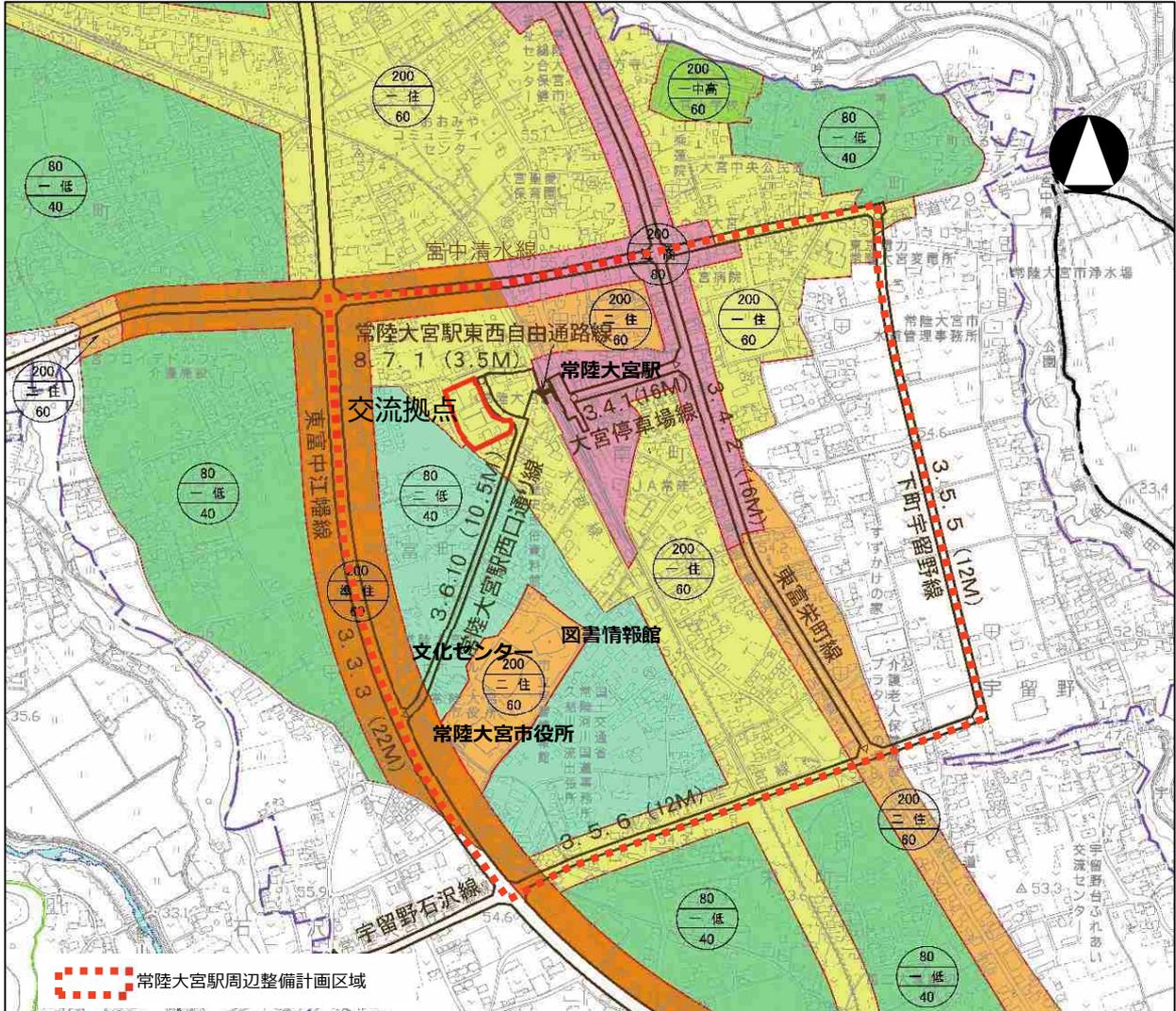


2 現況把握と計画の位置付け

3)常陸大宮駅周辺の都市計画状況

常陸大宮駅周辺整備計画区域及びその周辺の用途地域について、常陸大宮駅の東側及び都)大宮停車場線沿道は、近隣商業地域に指定されています。常陸大宮駅の西側は、第一種住居地域及び第二種低層住居専用地域に指定されています。

また、常陸大宮駅周辺整備事業に伴い、常陸大宮駅周辺の都市計画道路について見直しを実施し、2路線が追加され以下の8路線が決定されております。



(出典：大宮都市計画図の一部)

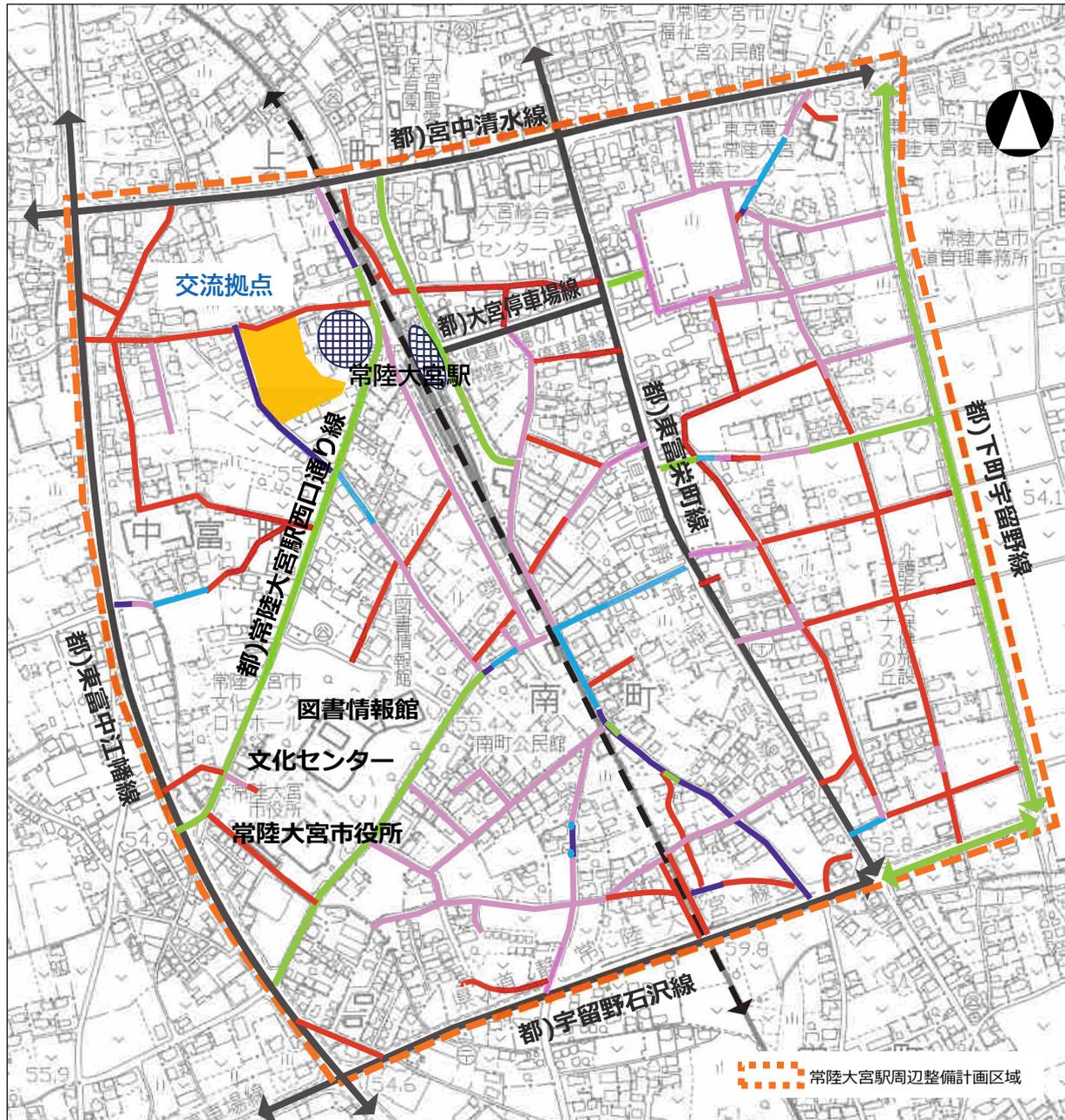
凡 例		
都市計画区域	-----	
用途区域	-----	
都市計画道路	=====	
下水道処理区境界	-----	
汚水ポンプ場	(P)	
都市計画公園	////	
ゴルフ場	□	
河 川	~~~~~	
用 途	第一種低層住居専用地域	■
	第二種低層住居専用地域	■
	第一種中高層住居専用地域	■
	第一種住居地域	■
	第二種住居地域	■
	準住居地域	■
地 域	近隣商業地域	■
	工業専用地域	■

■都市計画道路

道路番号	路線名	幅員
3・4・1	大宮停車場線	16m
3・4・2	東富栄町線	16m
3・3・3	東富中江幡線	22m
3・4・4	宮中清水線	16m
3・5・5	下町宇留野線	12m
3・5・6	宇留野石沢線	12m
3・6・10	常陸大宮駅西口通り線	10.5m
8・7・1	常陸大宮駅東西自由通路線	3.5m

4) 常陸大宮駅周辺の道路現況

常陸大宮駅周辺の道路現況については、都市計画道路や市役所周辺の道路の一部で8.0m以上の幅員が確保されているほか、4.0mから8.0mの道路が多く存在しています。一部の区間において幅員4.0m未満の狭あい道路も多く存在します。



(出典：常陸大宮駅周辺整備計画)

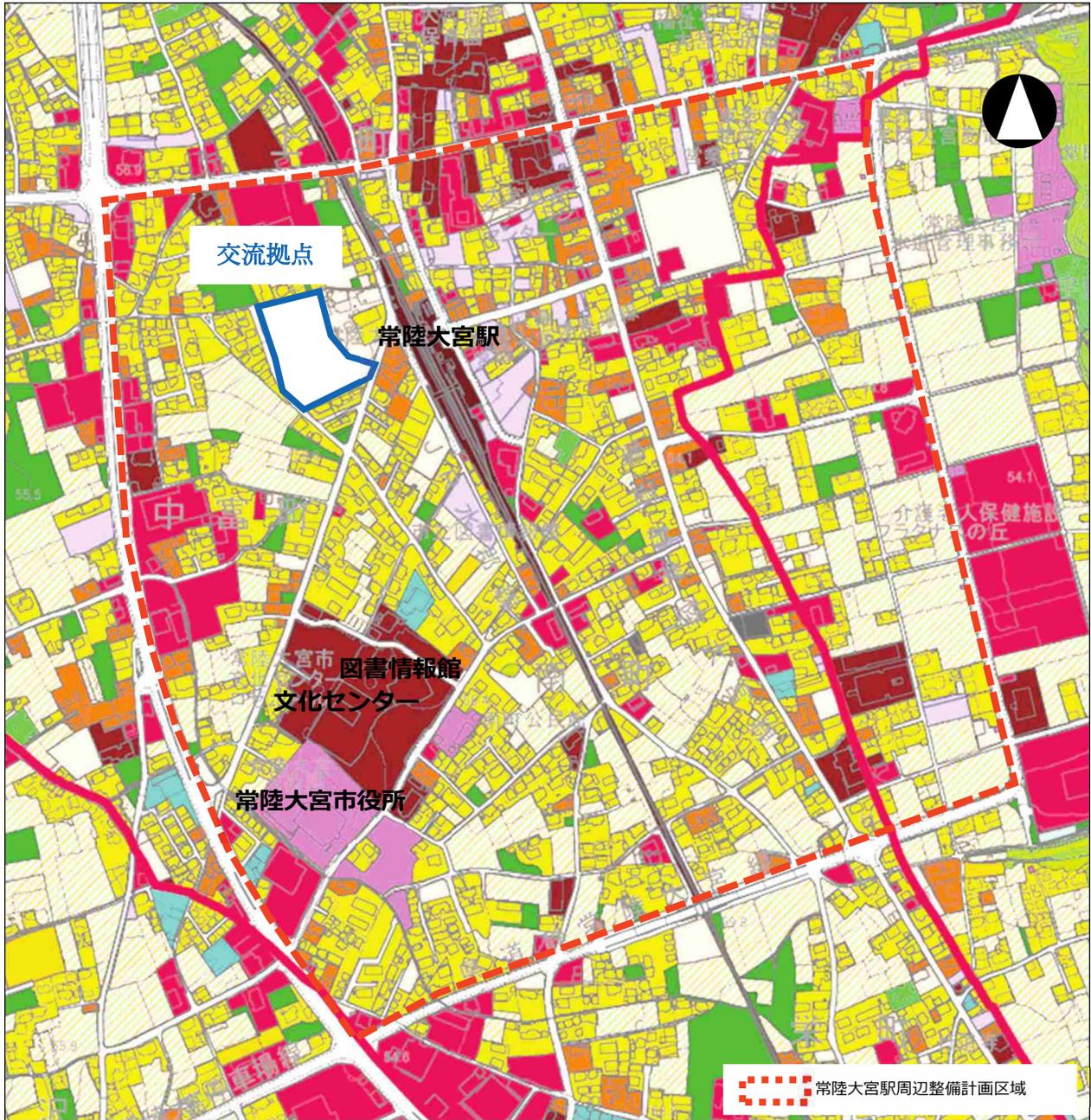
凡例	
—	道路幅員 4.0m未満
—	道路幅員 4.0m以上5.5m未満
—	道路幅員 5.5m以上6.0m未満
—	道路幅員 6.0m以上8.0m未満
—	道路幅員 8.0m以上
—	国道, 県道等
	JR常陸大宮駅口一タリ一計画

2 現況把握と計画の位置付け

5)常陸大宮駅周辺の土地利用現況

土地利用については、商業用地が幹線道路沿道に多く存在し、併用住宅用地(店舗併用住宅)駐車場用地が常陸大宮駅前に多く存在しています。住宅用地はほとんどの区域に存在し、一部について過密した状況となっています。

交流拠点の周囲は、常陸大宮市役所(公共用地)や文化センター、図書館情報館、医療・福祉に関する施設(文教厚生用地)が立地しています。一方では、計画的な公園・緑地用地は不足しています。

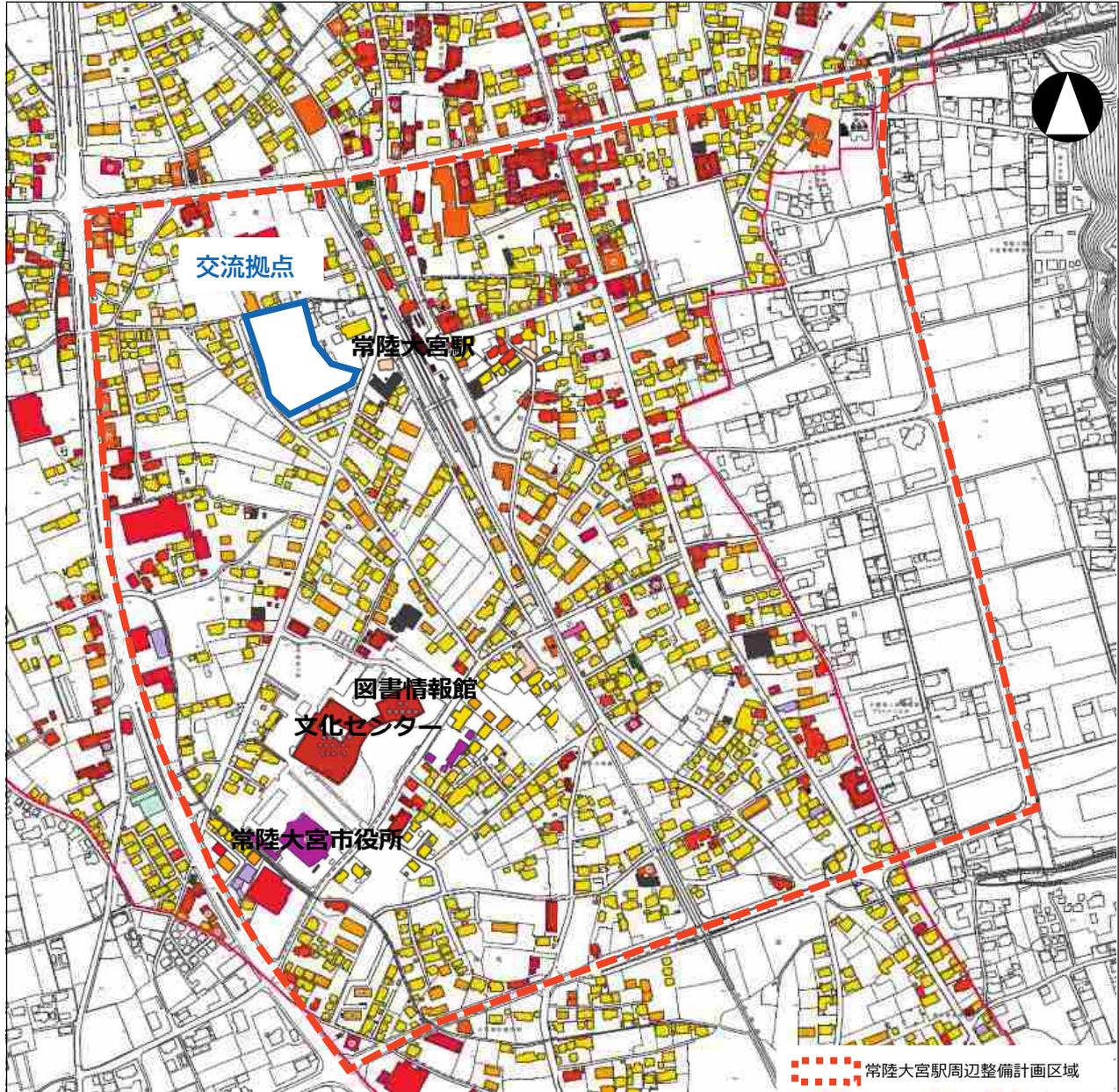


凡 例			
1. 農地(田)	7. 住宅用地	13. 文教厚生用地	19. 鉄道用地
2. 農地(畑)	8. 併用住宅用地	14. 公園・緑地、公共空地	20. 駐車場用地
3. 山林	9. 商業用地	15. その他の空地	21. 太陽光発電施設
4. 原野・荒野・牧野	10. 工業用地	16. ゴルフ場	
5. 水面	11. 運輸施設用地	17. 防衛用地	
6. その他(海浜等)	12. 公共用地	18. 道路用地	

(出典：常陸大宮駅周辺整備計画)

6) 常陸大宮駅周辺の建物現況

駅周辺地域の建物用途については、商業施設は幹線道路沿道に、併用住宅は常陸大宮駅前によく存在しています。住宅及び共同住宅はほとんどの区域に存在し、一部について過密した状況となっています。また、病院・医療機関などの文教厚生施設は常陸大宮駅の北東側に多く存在しています。交流拠点周辺は、戸建て住宅が多く立地しています。



(出典：常陸大宮駅周辺整備計画)

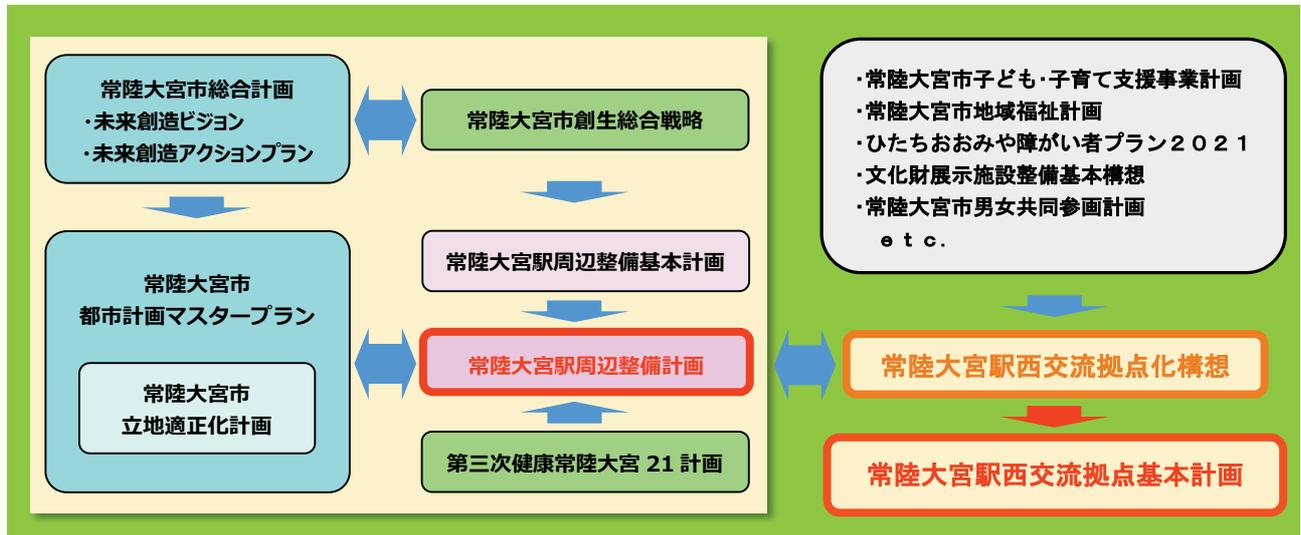
凡 例			
【建物用途分類】	7. 文教厚生施設(2)	14. 遊戯施設	21. サービス工業施設
1. 住宅	8. 競技施設	15. 娯楽施設	22. 自動車修理工場
2. 共同住宅	9. 業務施設	16. 運輸施設	23. 家内工業施設
3. 併用住宅(1)	10. 商業施設(1)	17. 倉庫施設	24. 農漁業用施設
4. 併用住宅(2)	11. 商業施設(2)	18. 自動車車庫	25. その他の施設
5. 官公庁施設	12. 問屋・卸売施設	19. 重化学工業施設	
6. 文教厚生施設(1)	13. 宿泊施設	20. 軽工業施設	

2 現況把握と計画の位置付け

(3)上位・関連計画の位置付け

本計画の策定に際し、上位計画及び関連計画を整理し、常陸大宮駅周辺の整備やまちづくりに関する方向性を確認するとともに、位置付けについて明確化します。

■上位計画及び関連計画と本計画の位置付け



1)常陸大宮市総合計画（平成28年度策定・令和3年度改訂）

常陸大宮市総合計画では、基本構想(未来創造ビジョン)として、持続的な発展を目指し、長期的な視点に立ったまちづくりのビジョンが示され、目指すべき市の将来像やまちづくりの基本的な理念が掲げられています。

- ①将来像「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」
一人ひとりが自分らしく輝き、誰もが安心して快適に暮らせ、いつまでも活力にあふれ、誇りを持ち続けることができるまちを目指していきます。
- ②まちづくりの基本理念：郷育立市の考え
 - 「人づくり」は「まちづくり」
 - 故郷を「伝える」・「つなぐ」・「つくる」市に愛着と誇りを持って将来も住み続けたいまちとして発展、維持していくためには、未来を担う次世代の子どもたちが健やかに成長できるまちづくりを進めて行く必要があります。

2)常陸大宮市都市計画マスタープラン（令和元年度改訂）

常陸大宮市都市計画マスタープランでは、常陸大宮駅及び市役所の周辺について、行政、医療・福祉、商業、情報・サービスなどの多様な機能が集積し、広く市全体の生活利便性を高める拠点であるとともに、常陸大宮駅は鉄道とバスの交通結節点であり、公共交通の利便性を高める拠点としても位置付けられています。

さらに、公園・緑地の整備方針が示され、特に公園・緑地が不足している市街地を中心に既存のオープンスペースを活用して公園の配置・整備が位置付けられています。

生活利便性を高め交流人口の増加・にぎわいの創出

① 都市機能の立地誘導による拠点性の向上

常陸大宮駅及び市役所本庁舎の周辺に、商業・業務、医療・福祉、行政、文化などの生活関連サービス施設の立地・集積を誘導します。

② 常陸大宮駅の交通結節機能の向上

常陸大宮駅については、駅の利便性向上や市の玄関口の顔としてのイメージアップに向けて駅舎の改築を進めます。常陸大宮駅の交通結節機能を高めるため、駅東口における駅前広場、駅西口における駅前交通広場、東西を連携する自由通路などの整備を進めます。

③ 市街地の空洞化の解消とまちのにぎわいの再生

常陸大宮駅周辺や市役所本庁舎周辺などにおいては、空き家や空き地、空き店舗などの既存ストックを活用しながら、企業のサテライトオフィスの誘致や若い世代を中心とした起業支援、特産品の開発・販売などにより、市街地の空洞化の解消とまちのにぎわいの再生を進めます。

市街地における憩いの空間の創出

① 公園・緑地の整備・確保

公園・緑地は子どもの遊び場や子育て世代のコミュニティ醸成の場、高齢者の憩いの場など、多様な世代が定住する生活基盤としての重要な役割を担っていることから、特に不足する市街地を中心に既存のオープンスペースを活用して、必要となる公園などを適正に配置・整備します。

② 公園・緑地の適切な維持管理・運営

公園施設については、遊具などの安全管理を徹底し、適正な維持管理に努めます。また、多様な世代が定住する生活基盤として、利用者のニーズの変化を捉え、廃止や統合なども含めた公園のリニューアルを検討します。

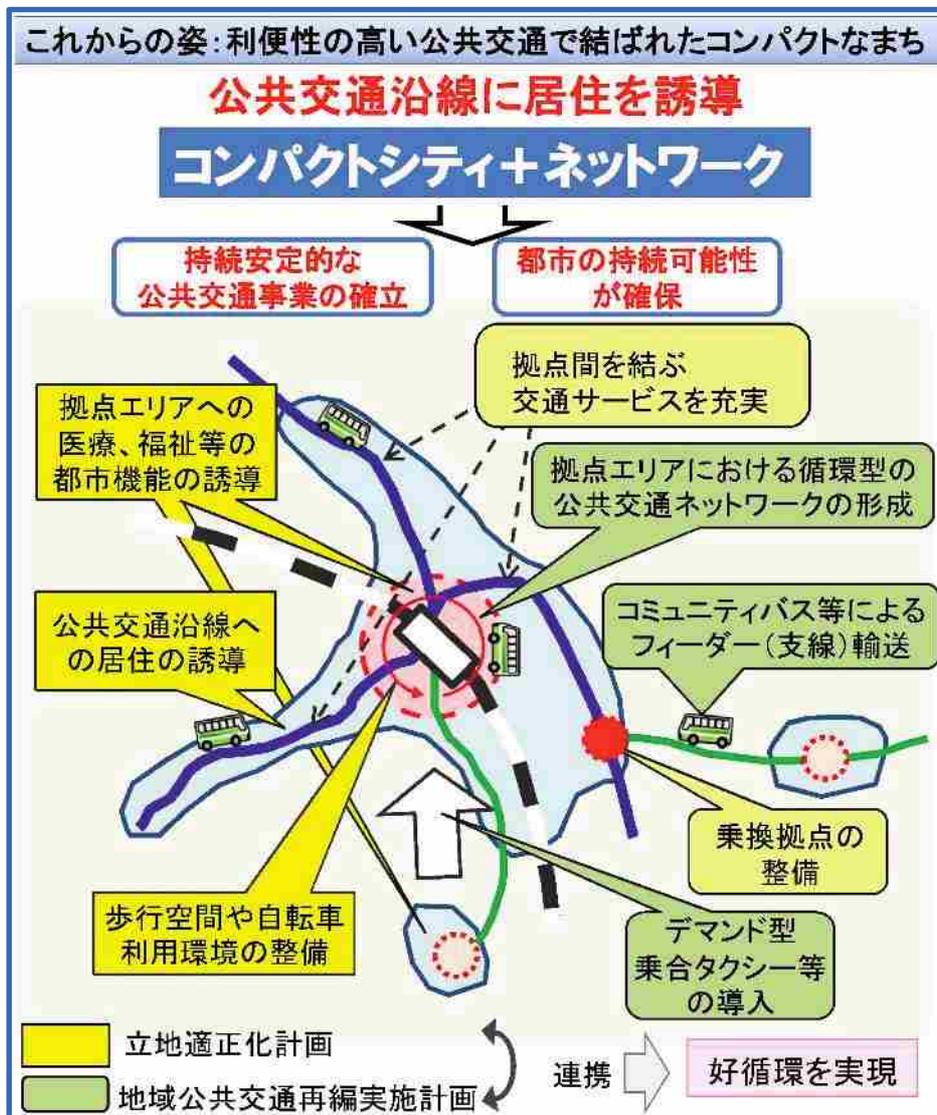
2 現況把握と計画の位置付け

3)常陸大宮市立地適正化計画（令和2年度策定）

立地適正化計画は、都市再生特別措置法第81条により、市町村が作成することができる計画です。人口の急激な減少と高齢化を背景として、今後のまちづくりについては、高齢者や子育て世代にとって、安心して健康で快適な生活環境を実現できる「持続可能な都市経営」が求められています。

立地適正化計画は、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導、公共交通の充実による「コンパクトシティ+ネットワーク」の形成に向けた取組を推進するものです。

■立地適正化計画が目指す将来のまちの姿（概念図）



4)第2期常陸大宮市創生総合戦略（令和元年度改訂）

第2期常陸大宮市創生総合戦略では、魅力あるまちづくりを進める中で、次に掲げる事業が位置付けられています。

■常陸大宮駅周辺整備事業

本市における生活環境の総合的な魅力を向上し定住促進を図るため、常陸大宮駅などの都市中心拠点や各地域の地域拠点を整備するとともに、拠点と拠点をつなぐための地域公共交通の維持・活性化に取り組みます。

■女性が活躍できる地域社会の構築

女性ならではの感性を生かし、新たな発想でまちを元気にするため、各種施策における女性活躍の場づくりの推進と新たな担い手の発掘・育成に取り組みます。子育てと仕事の両立など、自分らしく生きるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、女性が輝く環境づくりを推進します。

■関係人口の創出・拡大と活用

本市の特色ある文化、伝統、産業、観光などあらゆる地域資源を掘り起こし、磨き上げ、多様な人々の関わりやつながりがもてる機会を創出します。

■SDGsを踏まえた整備計画

常陸大宮市では「第2期創生総合戦略」などにおいて「SDGs（持続可能な開発目標）」の理念を意識しながら、各種施策を展開し、持続可能なまちづくりを推進しています。



持続可能な開発目標 (SDGs(Sustainable Development Goals))

2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された2016年(平成28年)から2030年(令和12年)までの開発目標のことで、持続可能な世界を実現するため、貧困や飢餓、気候変動など17の目標(ゴール)と、それらをより具体化した169の達成基準(ターゲット)で構成されています。

2 現況把握と計画の位置付け

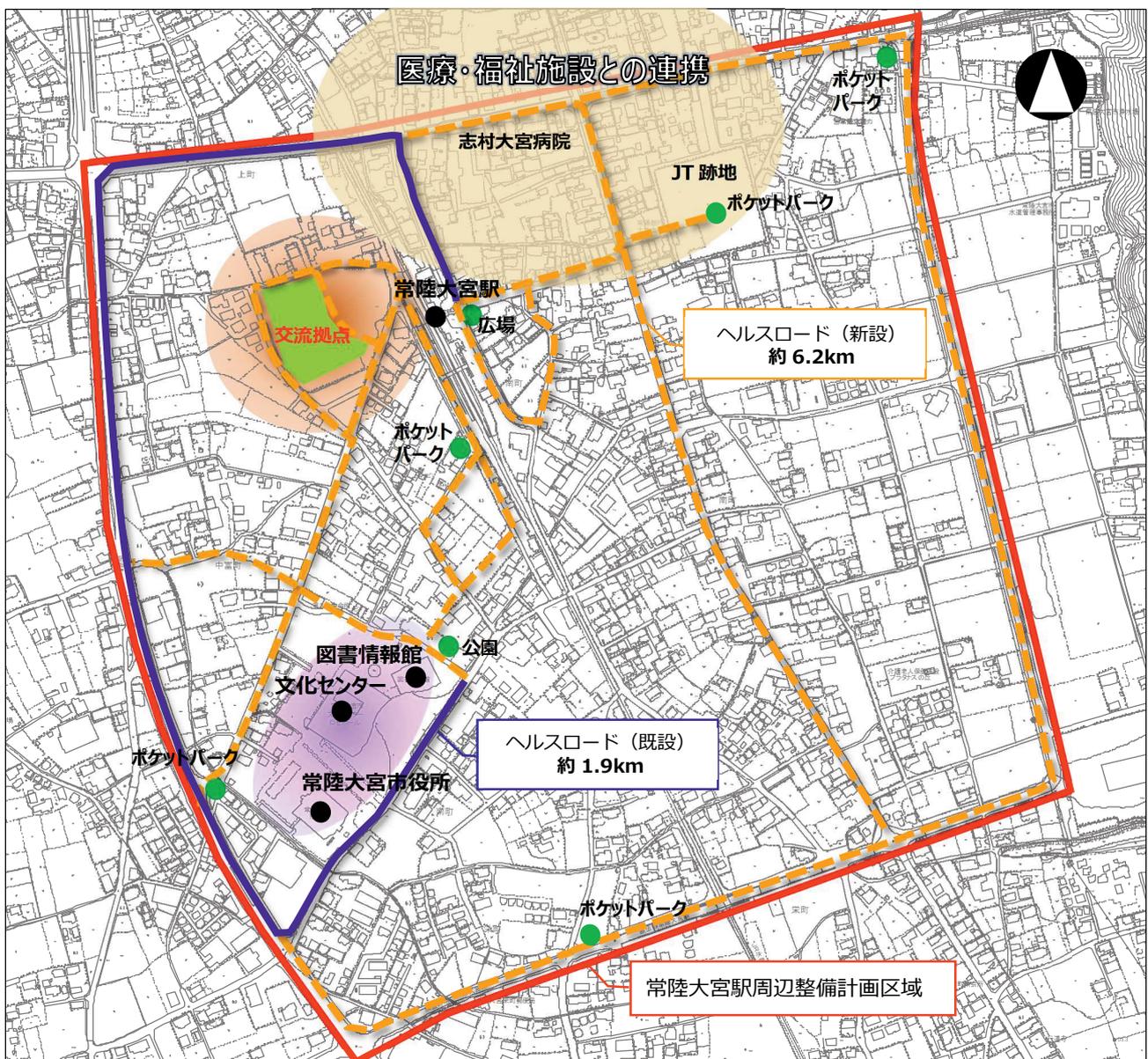
5)第三次健康常陸大宮21計画（平成30年度策定）

第三次健康常陸大宮21計画においては、身体活動・運動をする人を増やす目標として、次に掲げる取組が位置付けられています。

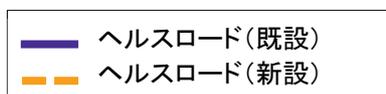
■目標：身体活動・運動する人を増やす

生活習慣病予防や高齢者の介護予防のため、運動効果の周知や運動指導を実施し、運動習慣のある人の割合を増やします。

- ①運動効果の普及啓発，健康づくり推進協議会などを通じた運動習慣の推進
- ②個人の健康状態に応じた適切な運動指導の実施
- ③ヘルスロードの周知



(出典：常陸大宮駅周辺整備計画)



6)常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画（令和元年度策定）

常陸大宮市子ども・子育て支援事業計画は、常陸大宮市における子育て支援に関する施策の基本的な方向性を示すものであり、住民をはじめ、保育所、幼稚園、事業者、関係団体、行政がそれぞれの立場で、子どもの育ちと子育て家庭の支援に取り組むことが位置付けられています。

■目標1：子育てをまち全体で支える体制をつくる

- (1) 地域における子育て支援
- (2) 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

■目標2：安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

- (1) 職業生活と家庭生活の両立の推進
- (2) 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- (3) 子育てを支援する生活環境の整備，子どもなどの安全の確保

■目標3：子どもを慈しむまちをつくる

- (1) 母親及び乳幼児などの健康の確保及び増進
- (2) 新しく親となる世代の育み

■目標2：安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

- 子育てを支援する生活環境の整備
- 子どもなどの安全の確保



- 身近な地域において、安心して遊び
過ごせる公園や遊び場の維持・保全
- 児童公園など、全ての子どもが安心
して遊べる施設の整備

2 現況把握と計画の位置付け

7)ひたちおおみや障がい者プラン2021（令和2年度策定）

ひたちおおみや障がい者プラン2021では、障がいのある人もない人も分け隔てなく共に生きる社会の実現のため、全ての市民による理解と協力を必要とすることから、広義の対象は「全ての市民」となります。

常陸大宮市の将来像とこれからの福祉行政のあり方を見据え、障がいのある人もない人も安心して生活できるよう、障がいを支える福祉サービスの充実を図るとともに、障がいのある人の自立と社会参加の支援を総合的に推進するために、「だれもが安心して暮らせるまち」を理念とします。

- 目標1:相談支援体制の充実
- 目標2:地域生活を支援するサービス基盤の充実
- 目標3:障がいのある子どもへの療育と特別支援教育の充実
- 目標4:安心して地域生活ができる環境の整備
- 目標5:就労や社会活動による生きがいのづくりの推進
- 目標6:心のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

■目標4:安心して地域生活ができる環境の整備

- 公共施設や交通機関などのバリアフリー
- 防災や災害対策の充実



- 安全で快適な生活環境を整備
- だれにでも開かれたまちづくり

■目標6:心のバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

- 共生社会の理念の広報・啓発
- 障がいのある人や障がい特性に関する理解の促進
- 公共施設や民間施設のユニバーサルデザイン化



- 共生社会の実現
- 心のバリアフリーとユニバーサルデザインの深化・定着

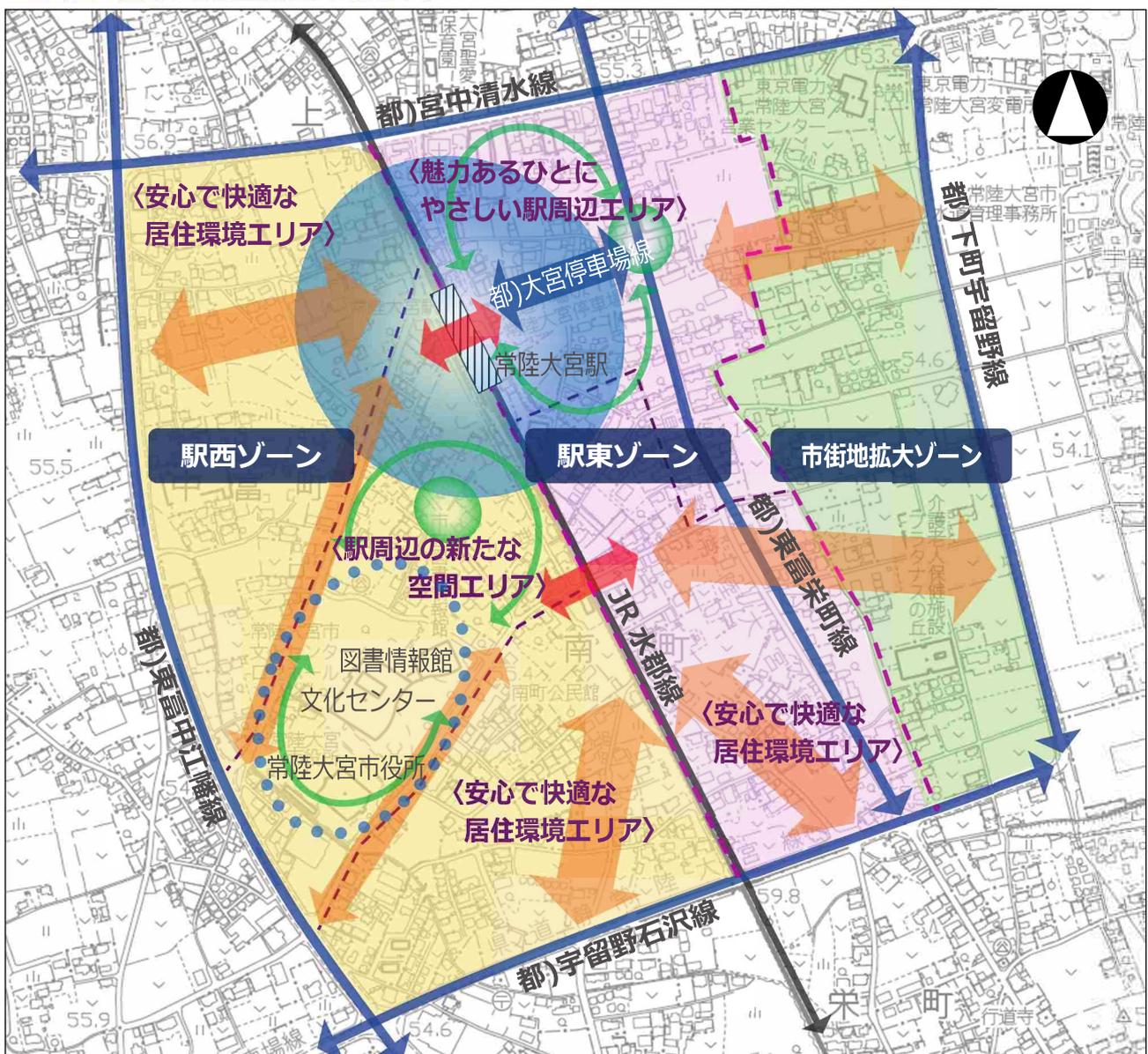
8) 常陸大宮駅周辺整備基本計画（平成28年度策定）

常陸大宮駅周辺整備基本計画には、「整備計画区域」内におけるゾーン別の整備の考え方が示されており、安心して快適な居住環境エリアを主体に、駅周辺の新たな空間エリアを整備します。

駅西ゾーン

- 「駅周辺の新たな空間づくり」として駅西口広場や駐車場などの整備を推進します。
- 駅を中心とした交通拠点の整備の一環として、常陸大宮駅舎の改築とあわせた自由通路などの整備を図るとともに、市役所や文化センター・図書館などの行政機能へのアクセス向上を推進し、東西の交通施設が一体的となるネットワークの形成を目指します。
- ゾーン内には市役所や文化センター・図書館などの施設があるため、上位計画に位置付けられる都市中心拠点として行政関係機能の集積を図り、駅西整備による新たな空間の創出を促進します。

■常陸大宮駅周辺整備基本構想図



(出典：常陸大宮駅周辺整備基本計画)

2 現況把握と計画の位置付け

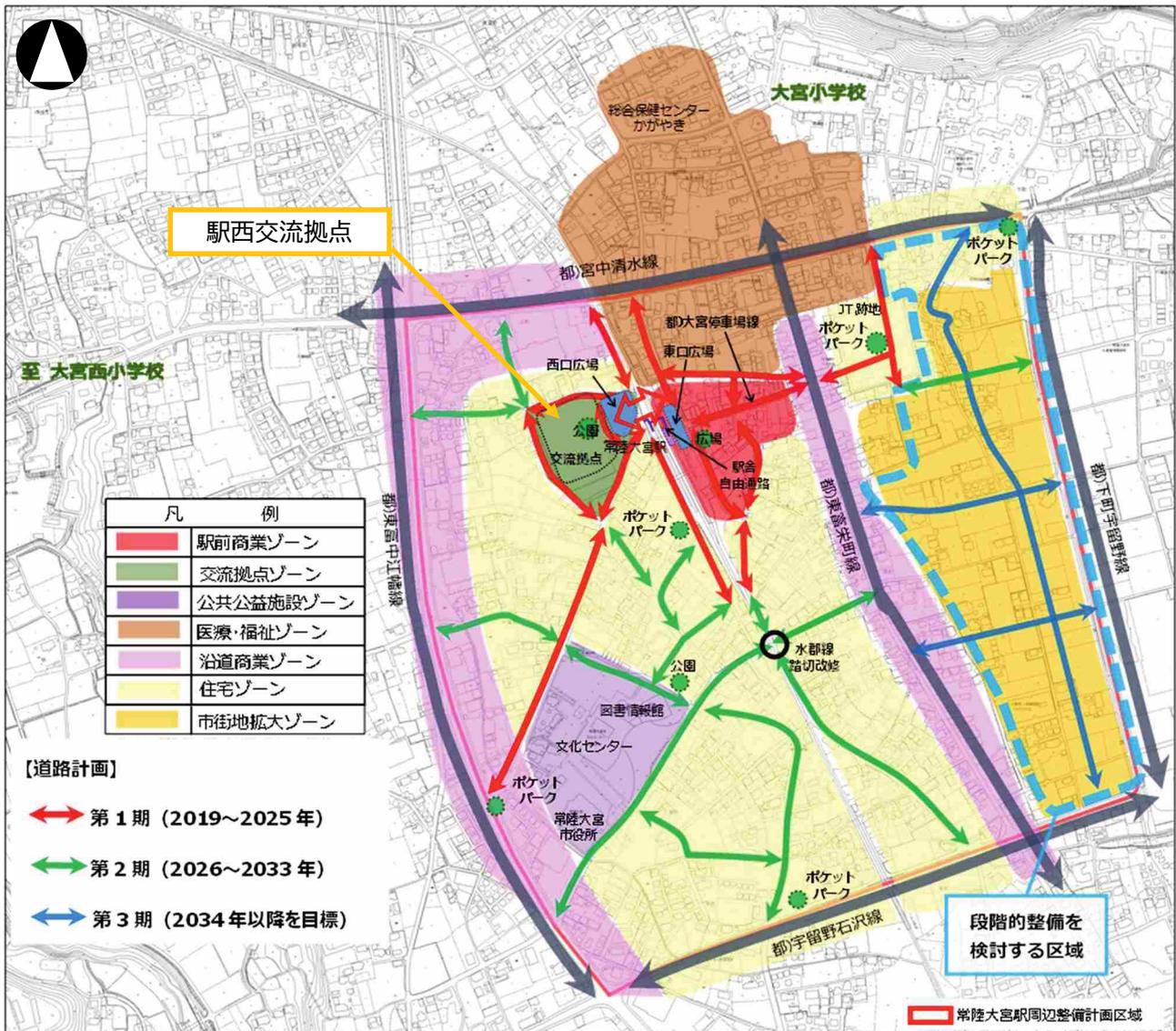
9)常陸大宮駅周辺整備計画（令和元年度策定）

常陸大宮市駅周辺整備計画においては、より具体的な計画が策定され、常陸大宮駅西口を交流拠点ゾーンとして位置付け、周辺道路、駅舎・自由通路、駅前広場などの計画と併せた土地利用が示されています。

交流拠点ゾーン

- 市民サービス機能や防災機能、地域の情報発信機能を備えた公共施設などを集約し市民生活の利便性の向上を図るとともに地域の交流を促す憩いの場の確保を目指します。
- 交流拠点については、駅周辺を中心に、行政・医療・福祉・情報・サービスなどの機能を集積した都市中心拠点の形成を目指すものとします。子育て支援や多世代の市民交流機能と歴史文化など、多様な地域資源の情報発信を行う機能を併せ持った複合施設を整備することにより、市内外からの利用を促進し、まちの賑わいを創出するものを計画します。

■常陸大宮駅周辺整備計画における土地利用ゾーニング



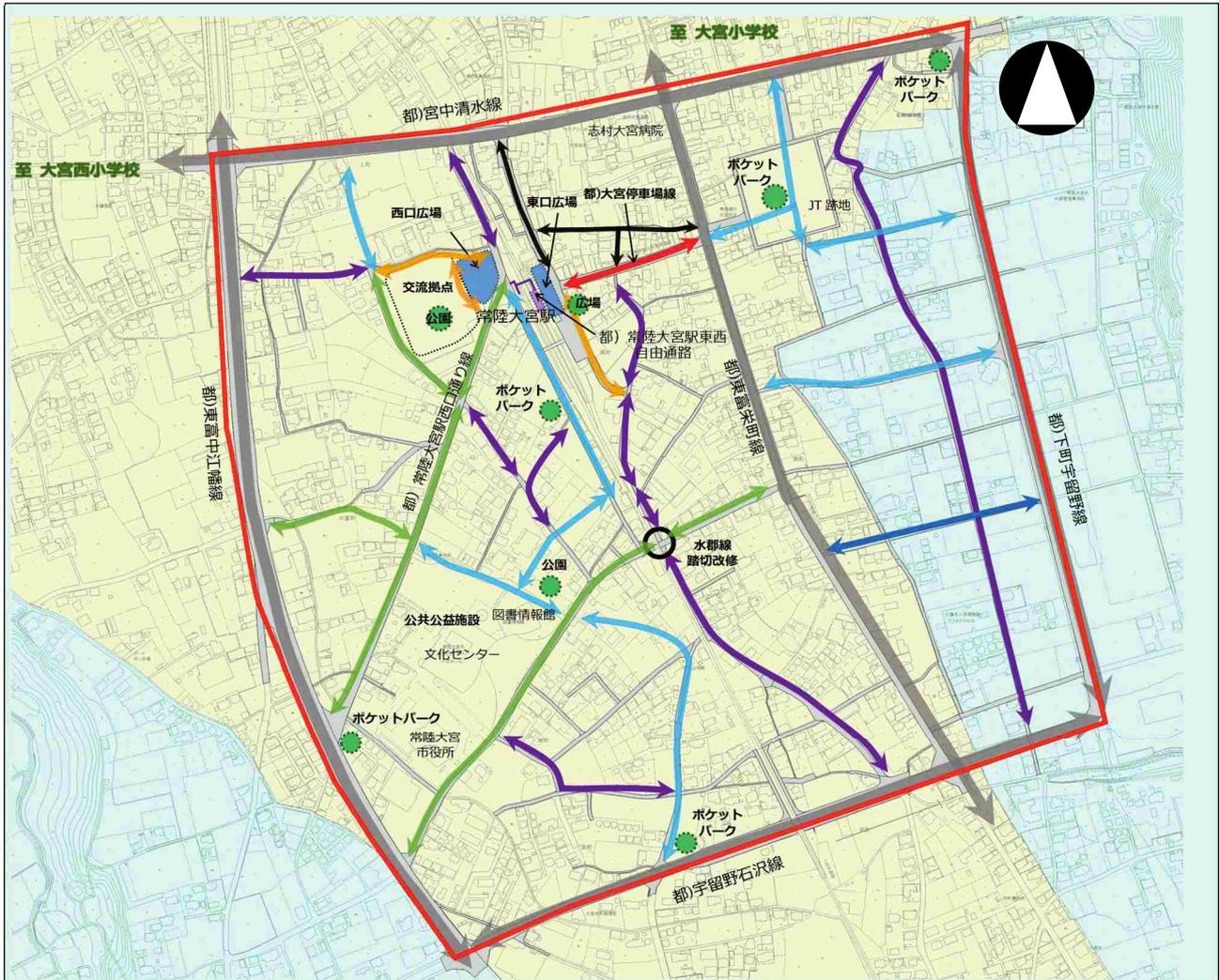
（出典：常陸大宮駅周辺整備計画）

■常陸大宮駅周辺の道路計画

駅周辺の道路については、道路ネットワークの再編や、駅周辺市街地の活性化を図るため、都市計画道路や市道の整備が計画されています。

駅西側については、公共公益施設、幹線道路沿いの商業施設が立地しているほか、大部分が住宅地となっています。

公共公益施設と駅西交流拠点を結ぶ都)常陸大宮駅西口通り線は、歩行者の安全な利用を促進するため歩道の整備を推進します。



常陸大宮駅周辺整備計画区域

(出典：常陸大宮駅周辺整備計画)

凡 例	
	16.0m
	12.0~12.5m
	10.5m
	10.0m
	6.0~8.0m
	現道再整備

3 交流拠点整備の経緯

(1) 常陸大宮駅西交流拠点化構想

常陸大宮駅西交流拠点は、常陸大宮駅周辺整備計画において主要な事業として位置付けられ、本計画策定にあたり「常陸大宮駅西交流拠点化構想」を策定しています。

常陸大宮駅西交流拠点化構想では、「交流拠点施設」として配置する機能、用途、規模について、上位計画や庁内ヒアリング結果を踏まえながら、特に高い要望があった「子育て支援」及び「多世代交流」機能を核とした「公園」を配置した検討を行いました。

(2) 常陸大宮市のまちづくりと交流拠点の関係性

1) 常陸大宮市のまちづくり

常陸大宮市のまちづくりを進める上での最上位の指針である「常陸大宮市総合計画」は、将来像「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」の実現に向け、「郷育立市」の考え方を踏まえ、「輝くひとを育むまちづくり」、「安全・快適なまちづくり」、「活力と誇りあふれるまちづくり」をまちづくりの基本理念として定めています。

将来にわたって住み続けたいまちとして発展、維持していくためには、「未来を担う次世代の子どもたちが健やかに成長できるまちづくり」を進めて行く必要があります。



「常陸大宮市総合計画」では、常陸大宮駅周辺整備に関連する施策について、大綱3「自然と調和した快適で安全なまち」の政策1「魅力と特色あるまちづくり」及び政策2「社会基盤の整った快適なまちづくり」において、以下の取組を位置付けています。

大綱3「自然と調和した快適で安全なまち」

- └─ 政策1「魅力と特色あるまちづくり」
 - └─ 施策1「計画的な土地利用と拠点づくりの推進」
 - └─ ②「常陸大宮駅周辺整備の推進」
- └─ 政策2「社会基盤の整った快適なまちづくり」
 - └─ 施策4「住環境の向上」
 - └─ ④「公園・室内遊び場の維持管理・整備」

2) 常陸大宮駅周辺整備計画における公園の考え方

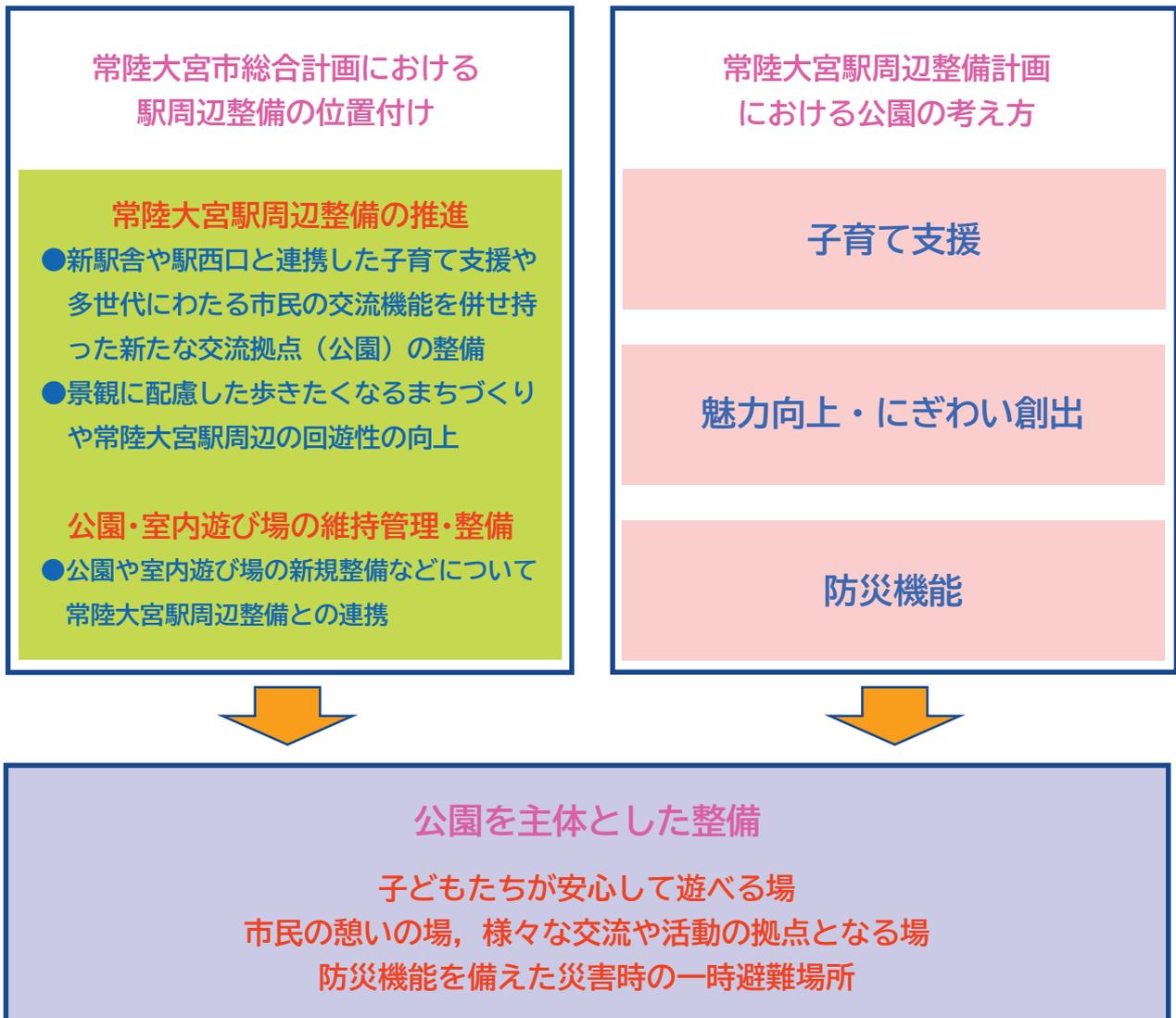
常陸大宮駅周辺整備計画は、公園を常陸大宮駅周辺整備の主要な事業に位置付け、駅周辺に必要な公園面積を13,180㎡と算定し、子育てを支援する生活環境の整備に加えヘルスロード計画を検討しており、計画的な公園・広場の整備を進めています。

また、地域交流や休憩機能だけでなく、災害時に一時的な避難場所として使用できるように防災機能を備えた整備を検討しています。

(3) 交流拠点の整備方針

常陸大宮駅西交流拠点の整備方針は、常陸大宮駅西交流拠点化構想の方向性、「常陸大宮市総合計画」及び「常陸大宮駅周辺整備計画」などのまちづくりにおける考え方を踏まえ、常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会及び常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会において、常陸大宮駅西交流拠点は「公園」を主体として整備することを市の方針として決めました。

■整備方針イメージ



(4)公園の分類と現状

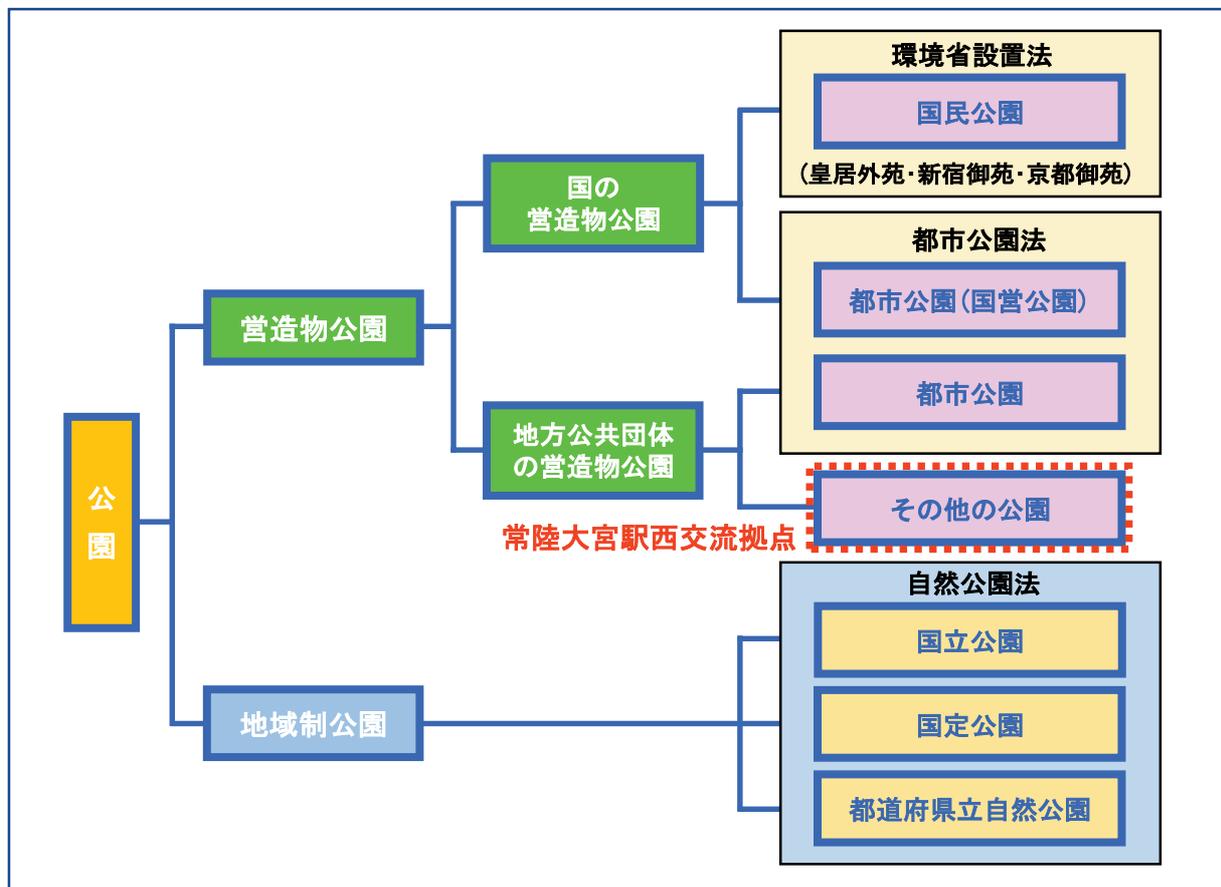
1) 公園の分類

一般に「公園」と呼ばれるものは、営造物公園と地域制公園に大別されます。

営造物公園は都市公園法に基づく都市公園に代表され、国または地方公共団体が一定区域内の土地の権原を取得し、目的に応じた公園の形態を創り出し一般に公開する営造物です。

地域制公園は自然公園法に基づく自然公園に代表され、国または地方公共団体が一定区域内の土地の権原に関係なく、その区域を公園として指定し、土地利用の制限や一定の行為の禁止または制限などによって、自然景観を保全することを主な目的とします。

■公園の分類



2) 市内公園の現状

本計画地周辺(旧大宮地域)には、市が管理する公園が11カ所存在しますが、常陸大宮駅周辺整備計画区域内は未整備の状況であり、計画的な公園・緑地及び子育てを支援する生活環境を整備するため、中心市街地である常陸大宮駅西交流拠点には公園が望まれます。

■旧大宮地域の公園位置図

番号	区分	公園名	面積 (㎡)
①	その他	大宮自然公園	81,710
②	その他	宇留野公園	7,804
③	その他	辰ノ口親水公園	340,000
④	その他	宮の郷公園	10,397
⑤	その他	やすらぎの森公園	40,119
⑥	その他	野中公園	295
⑦	その他	姥賀公園	311
⑧	その他	東富公園	1,450
⑨	その他	泉公園	1,280
⑩	その他	玉川自然公園(遊歩道)	400,000
⑪	都市公園	西部総合公園	164,000



4 計画内容の検討及び設定

(1)基本方針の設定

常陸大宮駅西交流拠点とは、「市民の憩いの場、様々な交流や活動の拠点となる場」、「子どもたちが安心して遊べる場」、「防災機能を備えた災害時の一時避難場所」としてあたらしい公園を整備するため、「駅前立地を活かした新たな魅力づくり」、「子育て支援に目を向けた交流拠点」、「市民が安心して暮らせる安全な地域づくり」の3つの基本方針を定めます。

■基本方針1 「駅前立地を活かした新たな魅力づくり」

- ・ 中心市街地の利便性の向上を図り、快適な生活環境を整備した新たな魅力づくり
- ・ 新駅舎や駅前広場、公共公益施設、自由通路を介した駅東口との連携
- ・ 人が集い、にぎわいが生まれ、様々な交流ができる拠点づくり

■基本方針2 「子育て支援に目を向けた交流拠点」

- ・ 将来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくり
- ・ 子どもから高齢者まで、幅広い世代と一緒に触れ合える安心安全な施設づくり
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備

■基本方針3 「市民が安心して暮らせる安全な地域づくり」

- ・ 中心市街地の防災体制の強化
- ・ 災害時の一時避難場所、防災機能の確保

(2)常陸大宮駅西交流拠点の整備コンセプト及び機能

3つの基本方針に基づき、「にぎわいの創出」、「インクルーシブ・パーク」、「防災機能の充実」を整備コンセプトとして設定し、常陸大宮駅西交流拠点に想定される主な機能として、下記の検討を行います。

■整備コンセプト1：「にぎわいの創出」

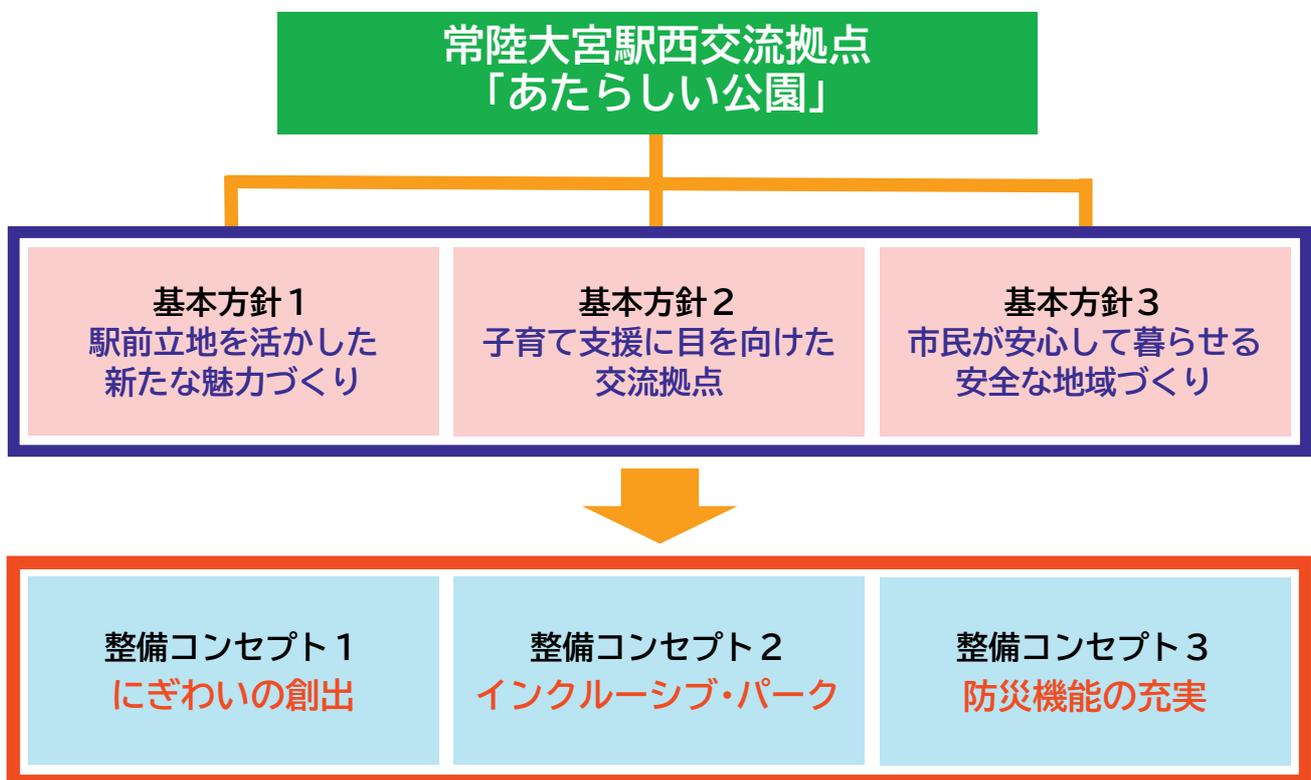
- レクリエーション機能：市民の憩いの場，活動の場
- 景観形成機能：地域の特徴・特色，潤いの形成
- 都市環境保全機能：良好な都市環境の維持

■整備コンセプト2：「インクルーシブ・パーク」

- バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能：インクルーシブの概念の導入

■整備コンセプト3：「防災機能の充実」

- 防災機能：地域の安全性，災害時対応



4 計画内容の検討及び設定

(3)整備コンセプトの具体的なイメージ

「にぎわいの創出」、「インクルーシブ・パーク」、「防災機能の充実」の3つの整備コンセプトについて、具体的なイメージを次に示します。

1) 「にぎわいの創出」

～みんなが集まる，子育て支援や多世代交流の場～

- ・みんなが楽しく過ごせ，心地よいと思える公園空間
- ・駅前という立地を活かしたにぎわいの創出
- ・多目的に利用できる広場
- ・さまざまな交流が生まれる場所

近年，市街地における公園のあり方が見直され，市民の憩いの場や運動の場としてだけでなく，様々な人々が集まる交流の場として各地で新しい試みがなされています。



市街地にある芝生広場のある公園事例（南池袋公園）
（芝生広場 ヨコ幅最大約 50m x タテ最大約 41m程度）



広々とした芝生広場がある公園事例（としまみどりの防災公園）
（芝生広場 ヨコ幅最大約 100m x タテ最大約 50m程度）

■にぎわいのイメージ



裸足で遊べる芝生広場



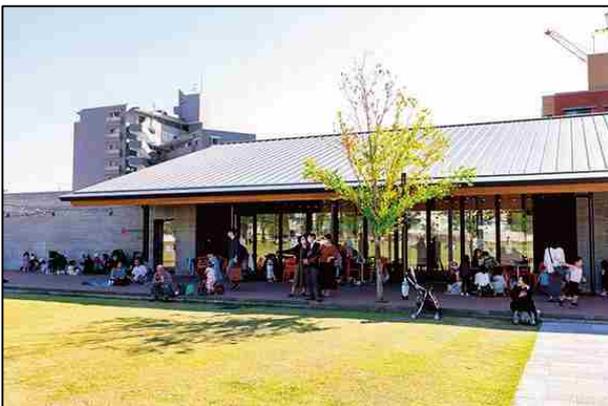
ヨガ教室など多目的に利用できる屋外スペース



雨や夏の日差しに配慮した遊具広場



キッチンカーなどにも対応するイベントスペース



広場に面した屋外テラスのあるカフェスペース



夜間でも明るく防犯性の高い照明設備



駅前の都市環境の維持保全、活性化



特色ある景観や潤いの形成

4 計画内容の検討及び設定

2) 「インクルーシブ・パーク」

～誰もが一緒に楽しく過ごせる場～

- ・障がいを抱える人もそうでない人も、誰もが分け隔てなく楽しめる場
- ・一緒に遊ぶ中で、様々な人々が関わり合いながら、理解し合える、共に生きる
ところを育む「共生社会」のハブとなる場

「インクルーシブ・パーク」とは、障がいの有無にかかわらず、どんな人でもみんなと一緒に遊べるように設計された公園です。「インクルーシブ・パーク」は、みんなと一緒に楽しめるよう、次のような要素を持ちます。

1. だれでも同じ遊びを楽しめる

すべての子どもが同じように遊べること。同じ楽しさを味わえること。

2. 感覚を使って楽しめる

揺れる、回る、滑るなどのスリル感に加え、触れる、聴くなど五感刺激の楽しさも加わり、遊びの世界を広げる。

3. 自分にあった遊びを楽しめる

遊びの種類だけでなく、体勢や難易度を選べるように工夫し、より多くの子どもたちが自分らしく楽しめる。

4. 落ち着ける場所がある

心の落ち着きを取り戻す空間(クールダウンスポット)を設ける。

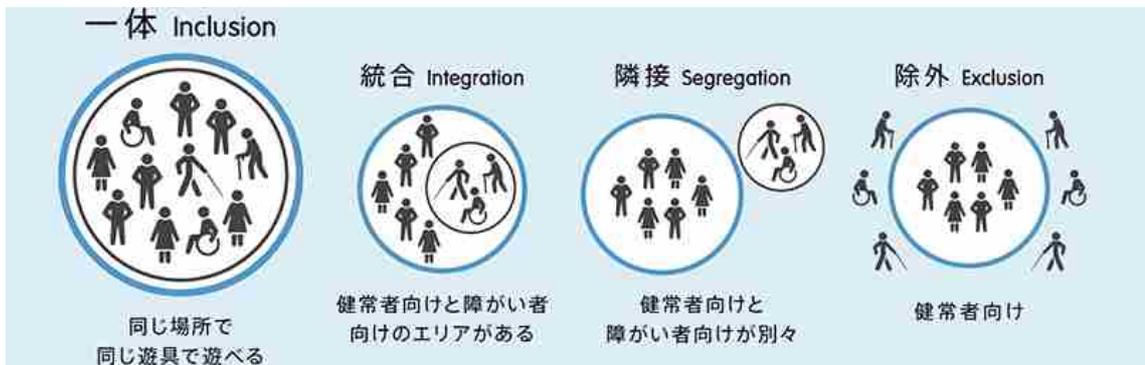
5. つながりを楽しめる

一緒に遊ぶことで楽しさを共有できるような工夫を取り入れる。

(出典：株式会社コトブキHP)

※インクルーシブとは、日本語で「包み込むような・包括的な」という意味です。

英語で「除外(Exclusion)」の対義語である「含める・一体(Inclusion)」が語源で、誰も排除しない社会を目指す考え方を言います。



(出典：株式会社ボーネルンドHP)

■インクルーシブ・パークのイメージ



車椅子に座ったまま遊べる砂遊び用のテーブル



斜面が広くそれぞれのペースで遊べる滑り台



身体をしっかりと固定できるサポート付ブランコ



五感を使って楽しむ仕掛けがある遊具



自由な体勢で遊べる回転遊具



車椅子でも遊べる複合遊具



ユニバーサルデザインを取り入れたベンチ



段差のないバリアフリーな園路

4 計画内容の検討及び設定

3) 「防災機能の充実」

～いざという時、さまざまな役割を担う場～

- ・ 地域住民の一時避難場所や災害時の活動拠点として、防災機能を備えた公園
- ・ 災害時に列車が停止した場合を想定し、利用者が一時滞在できる施設
- ・ 防災訓練などを通じ、防災に対する啓発を促す場

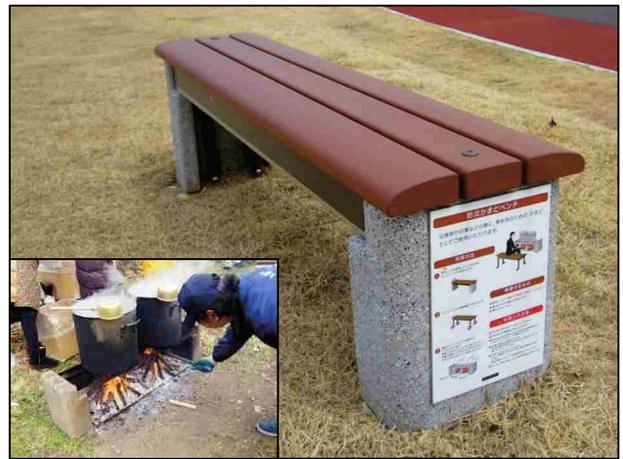
近年では、地震や豪雨など、毎年のように各地で大きな災害が発生しています。災害対策についてはコミュニティという視点が注目されており、共助の力を高めることが、地域の安心・安全の基盤づくりにつながるとされています。

災害時における近隣住民の一時避難場所や駅利用者の一時滞在施設として、食料や水などの備蓄、かまどベンチやマンホールトイレなどの整備、テントなどの設置スペースの確保を計画します。

■防災機能のイメージ



断水しても利用できるマンホールトイレ



災害時の炊き出しにも対応するかまどベンチ



停電しても使用できるソーラー発電灯(非常用電源として利用可)



井戸を利用した手押しポンプ



地域の防災機能を向上させる防火水槽



災害時にテントが張れるパーゴラ

5 基本計画図の検討・作成

(1) 施設計画

常陸大宮駅西交流拠点の基本方針，整備コンセプト及び想定される機能を具体化するため，公園づくりワークショップや社会実験，常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会，常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会などで出された意見を精査，検討した上で，市民から特に要望があった施設として，駅西交流拠点に望まれる導入施設を下記に想定します。(ワークショップ・社会実験，各種委員会の詳細については「7. 市民意向の把握」及び「9. 各種委員会」を参照)

■ 建物施設・機能について

ワークショップ・社会実験での意見

- ・体験学習ができる「コミュニケーションスペースの整備」
- ・多世代交流，地域の体験学習，地震や防災のことが学べる公園
- ・駅を利用する学生などが利用できる学習室
- ・おいしい物が食べられる，飲めるレストラン
- ・パン屋，カフェ，テイクアウトなど
- ・手ぶらで来ても遊べる，その場で飲食ができる
- ・公園の管理者として，子育てや介護を援助する「助け合いのリーダー」を育成する場
- ・定期的にイベントを開催できる場所

各種委員会での意見

- ・子どもたちを遊ばせたり，お茶を飲んでゆっくりしたりできる場所
- ・駅を利用する学生が親の迎えを待つスペース
- ・気軽に立ち寄れる軽食喫茶スペース
- ・地元産品を使用した食事やスイーツを提供するレストラン・カフェの設置
- ・幼児が遊べる室内空間，おむつ替えスペース授乳室の設置
- ・Wi-Fi環境，インターネットができるパソコン環境，充電スポット
- ・レンタルスペース，市民講座ができる施設

多目的室・学習室・カフェ

- ・広場に面し，子どもたちを遊ばせながら，休憩や交流活動ができる場とする。
- ・気軽に立ち寄れる休憩スペースとしてカフェを設置する。
- ・地域交流や子育て支援，生涯学習など，多目的に利用できる施設とする。
- ・バリアフリートイレやおむつ替えスペース，授乳室を整備し，家族連れや障がい者の利用に配慮する。
- ・Wi-Fiや充電スポットなどを整備し，駅利用者を含めた利便性の向上に配慮する。
- ・地場産食材の活用や常陸大宮ならではの特色などを市内外に発信する場として検討する。

ワークショップ・社会実験での意見

- ・トイレの機能充実(防災，授乳，おむつ替えなど)
- ・この場所にしかないユニークなトイレなど，トイレに特化した公園があってもいい
- ・死角がない安心安全な公園
- ・子どもだけで安全に入れるトイレ

各種委員会での意見

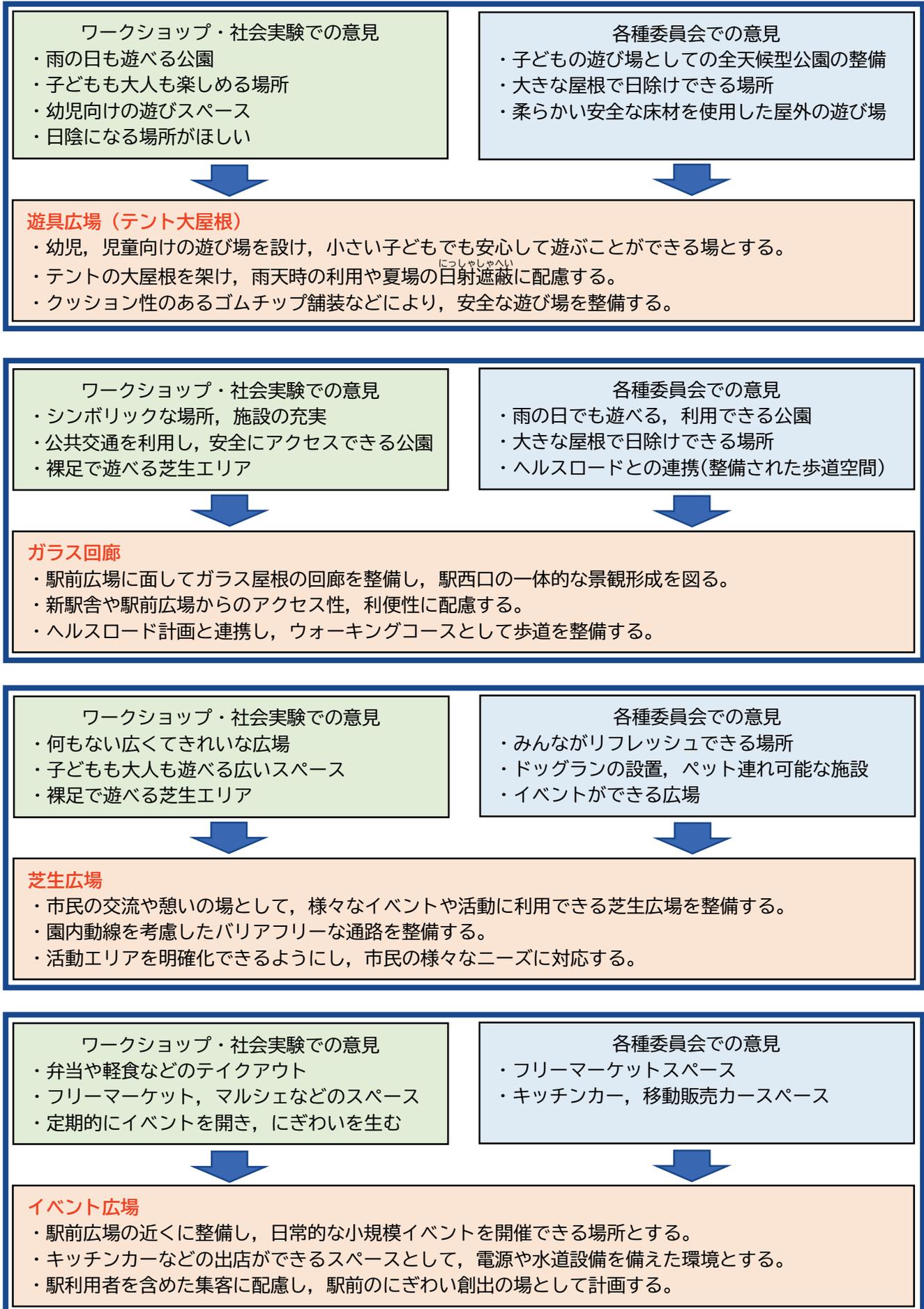
- ・明るく入りやすい，清潔なトイレ
- ・死角がなく，見通しのよい環境

トイレ棟

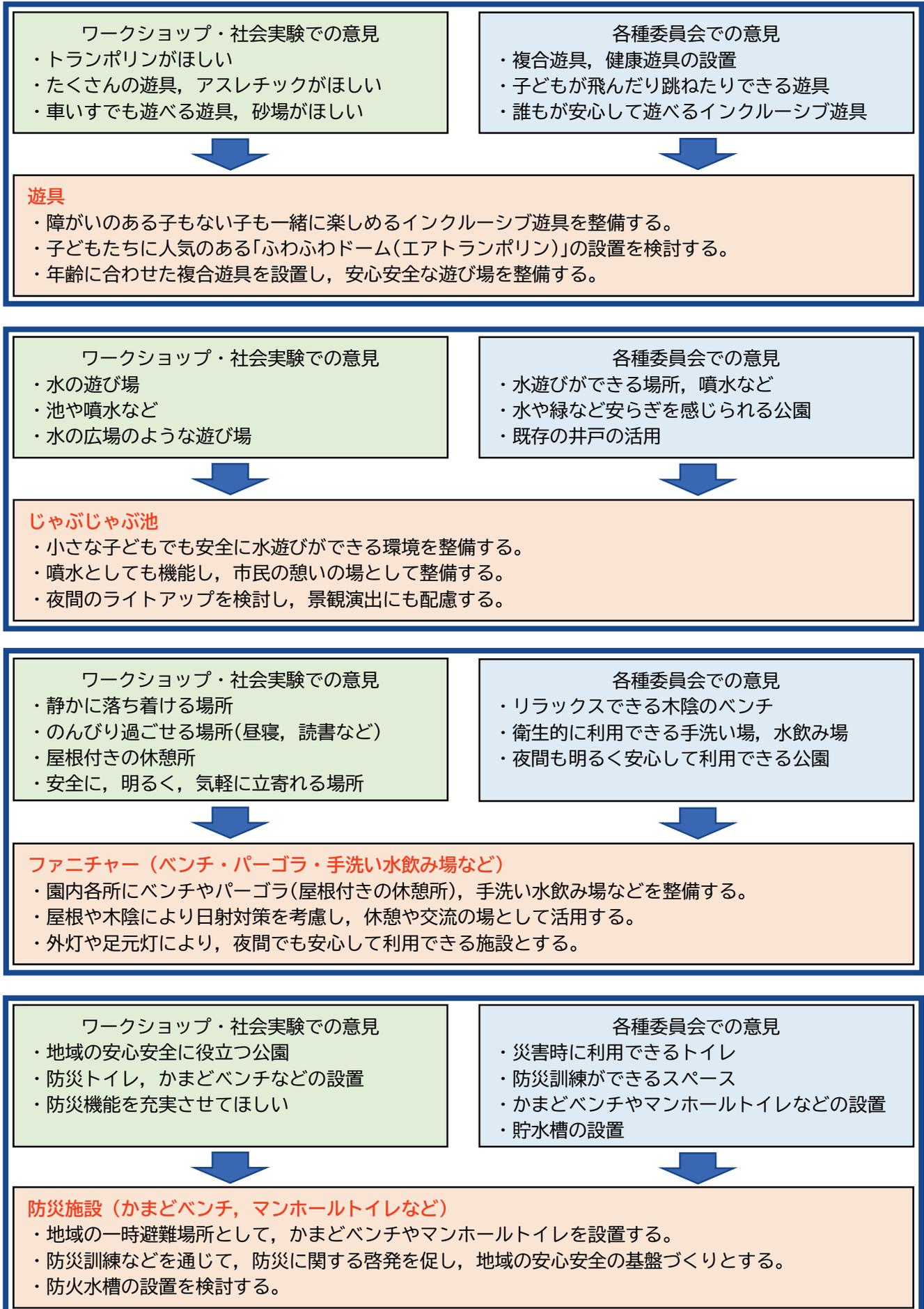
- ・ベビー用便器やおむつ替え，授乳スペースを設置し，子育て世代の利用に配慮する。
- ・バリアフリートイレや男女共用トイレを設置し，障がい者や性的マイノリティーにも配慮する。
- ・見通しの良い場所に設置し，死角のない安心安全な環境とする。
- ・明るく清潔感のある利用しやすい施設とする。

5 基本計画図の検討・作成

■屋外施設・機能について

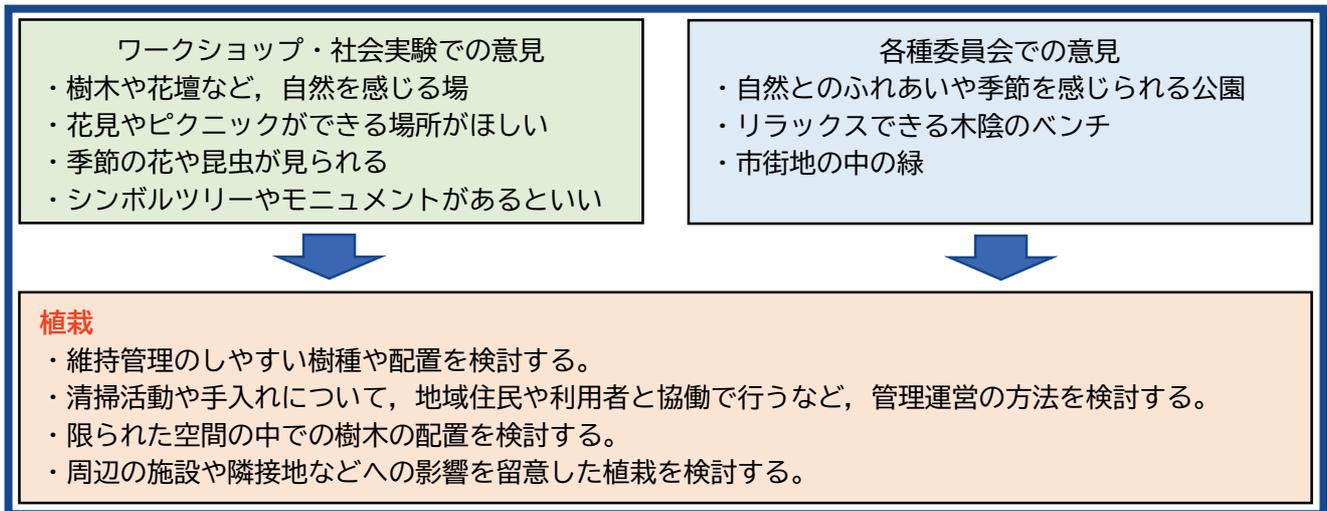
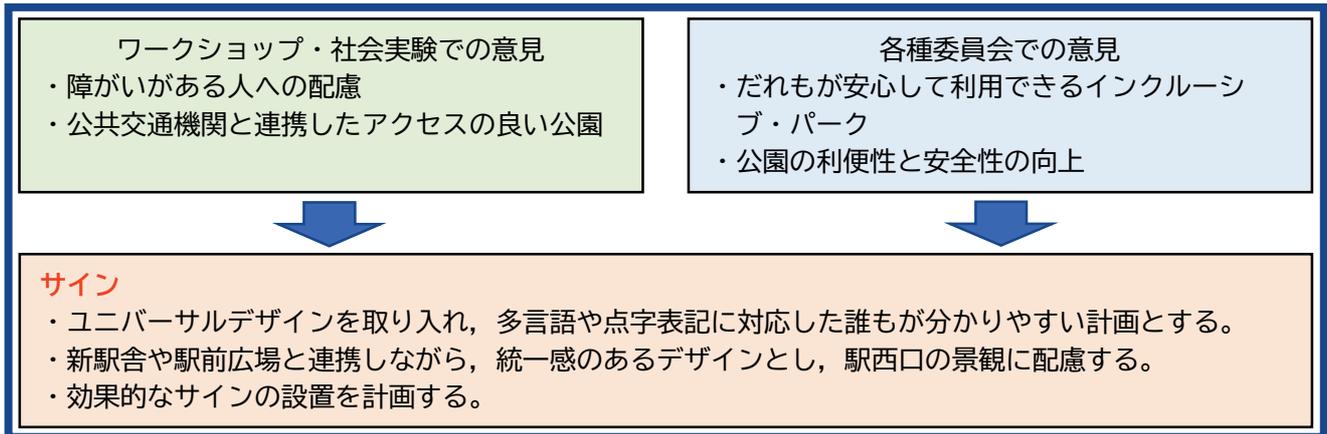


■遊具・ファニチャー(ベンチ・パーゴラなど)施設について

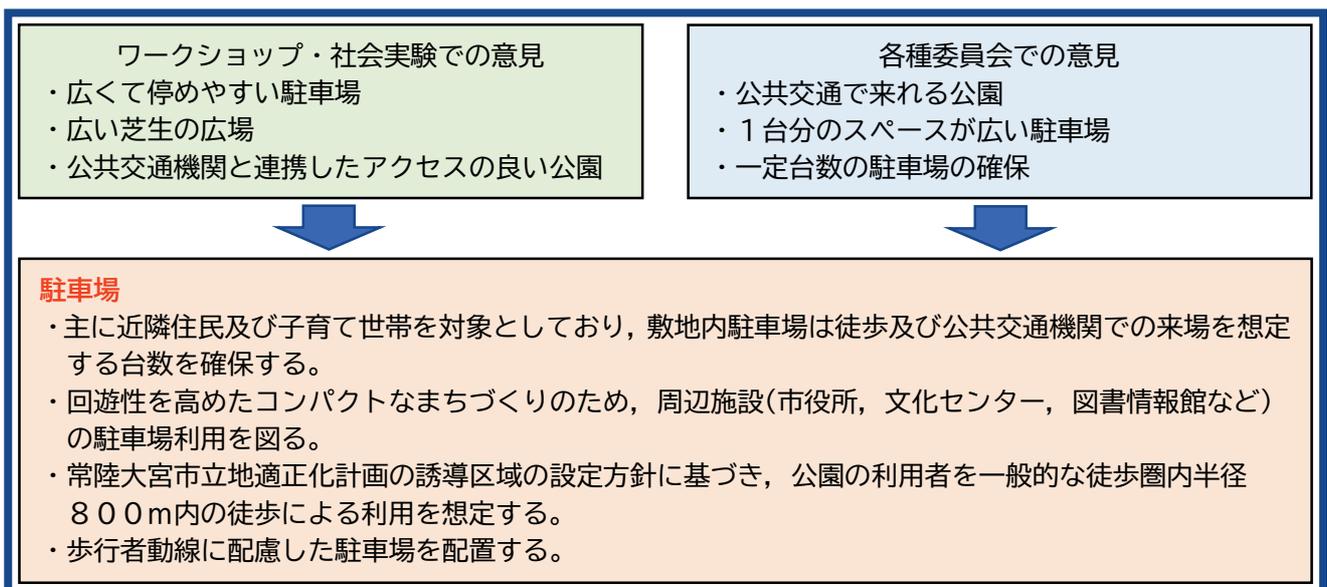


5 基本計画図の検討・作成

■サイン・植栽について

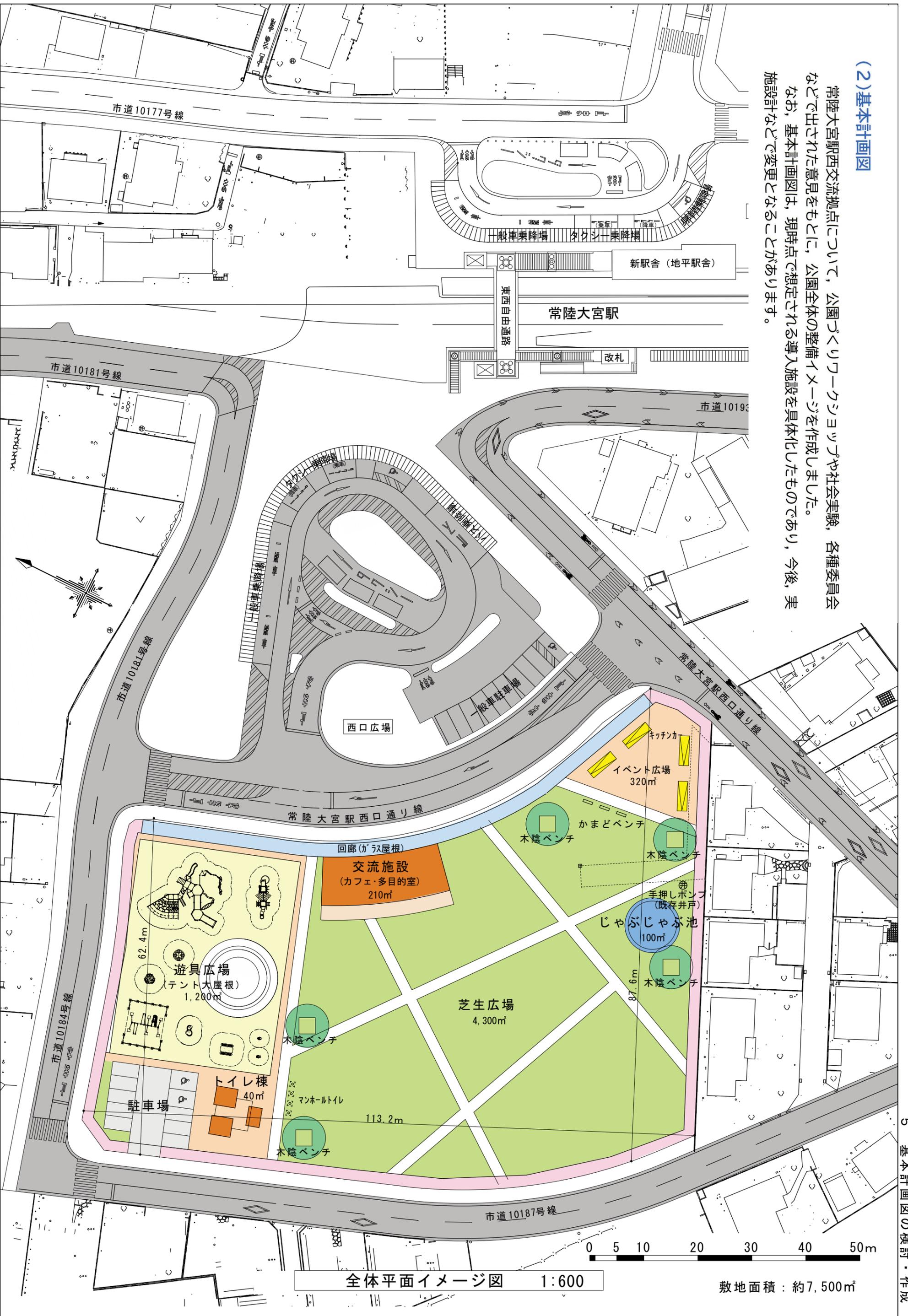


■駐車場について



(2)基本計画図

常陸大宮駅西交流拠点について、公園づくりワークショップや社会実験、各種委員会などで出された意見をもとに、公園全体の整備イメージを作成しました。
 なお、基本計画図は、現時点で想定される導入施設を具体化したものであり、今後、実施設計画などで変更となる可能性があります。





全体平面イメージ図 1:400

敷地面積：約7,500㎡

■交流拠点(公園)全体の空間イメージ

回廊(ガラス屋根)



駅舎や駅前広場と調和した景観を形成し
駅からのアプローチにも配慮した回廊

遊具広場(テント大屋根)



天候に左右されずに遊べる遊具広場

遊具広場(インクルーシブ遊具)



誰もが一緒に遊べる遊具広場

トイレ棟



明るく開放的で安心安全なトイレ



平面イメージ図 1:600

イベントコーナー



キッチンカーなどの出店にも対応する
イベントコーナー

木陰ベンチ



木陰でくつろげるベンチを随所に設置

じゃぶじゃぶ池



夏場の安全な水遊びスペース

芝生広場



裸足で遊べる芝生広場

■ 交流施設の空間イメージ

交流施設はカフェ機能を備えた多目的に活用できる空間とし、子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用できる施設とします。また、多目的室・学習室を設け、各種イベントや講座などに対応し、地域交流の場として幅広く利用できる計画とします。



芝生広場に面した外観イメージ



公園全体を見渡せる客席空間



外部と一体的に利用できるテラス



情報コーナーを設けたホール



親子教室など多用途にも対応



子育て教室や各種講座にも対応

■ トイレ棟のイメージ

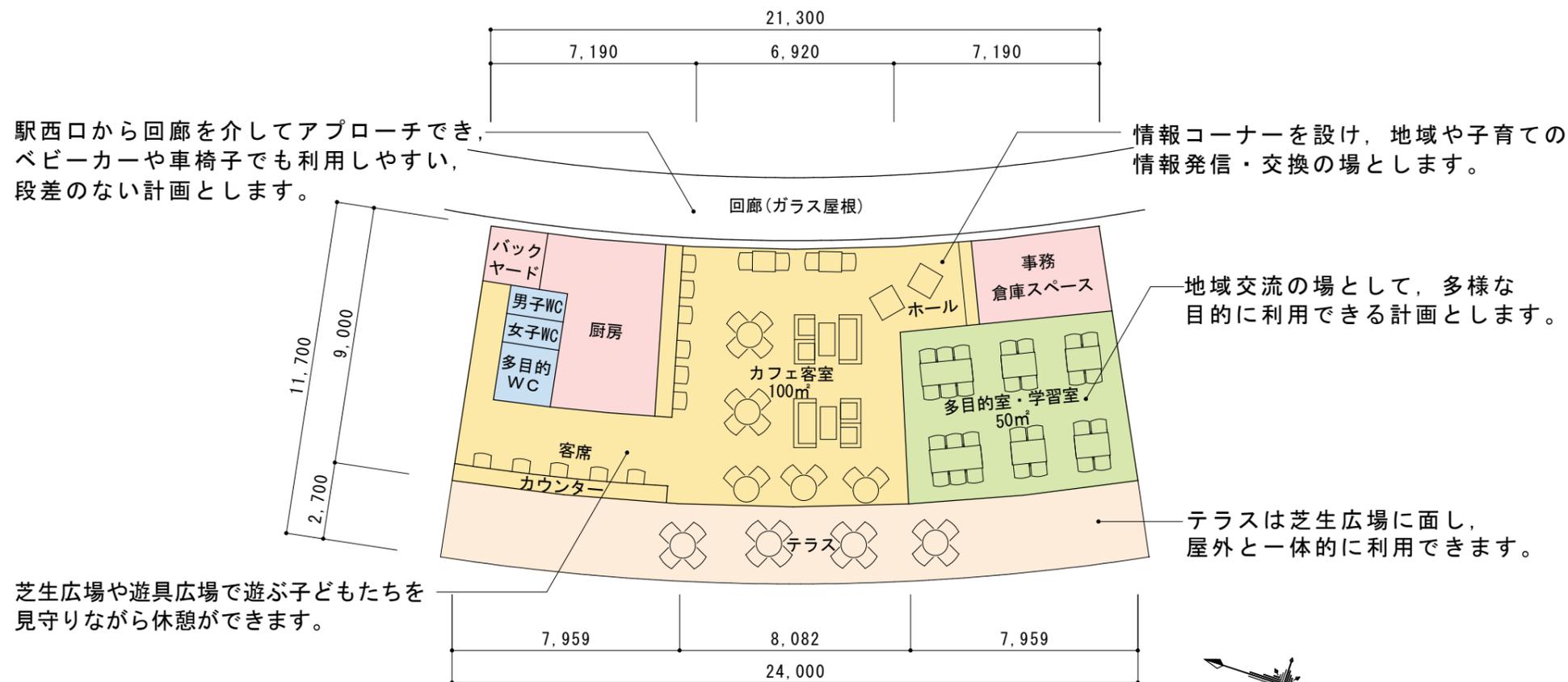
トイレは誰もが使いやすい明るく清潔な環境とし、プライバシーを保ちながら、見通しが効く安心安全な施設とします。



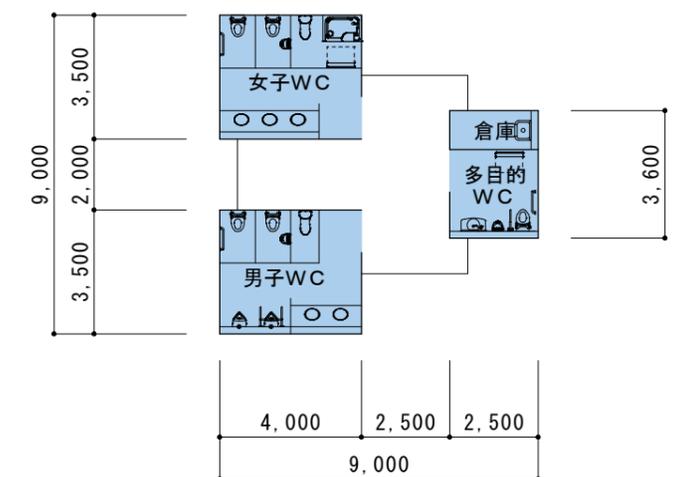
明るく開放的なトイレイメージ



地場産木材を使用した外観イメージ



交流施設 平面イメージ図 1:200



トイレ棟 平面イメージ図 1:200

■遊具広場の空間イメージ

遊具広場は障がいのある子もいない子も誰もが楽しく遊べるインクルーシブ・パークとし、雨天や夏場でも利用できるように大屋根を設けた施設を計画します。床はクッション性のあるゴムチップ舗装とし、安全に利用できる計画とします。



テント屋根を設けた遊具広場



大屋根に照明を設置した夜間のイメージ



ライトアップしたふわふわドーム



安全に遊べる回転遊具
(オムニスピナー)



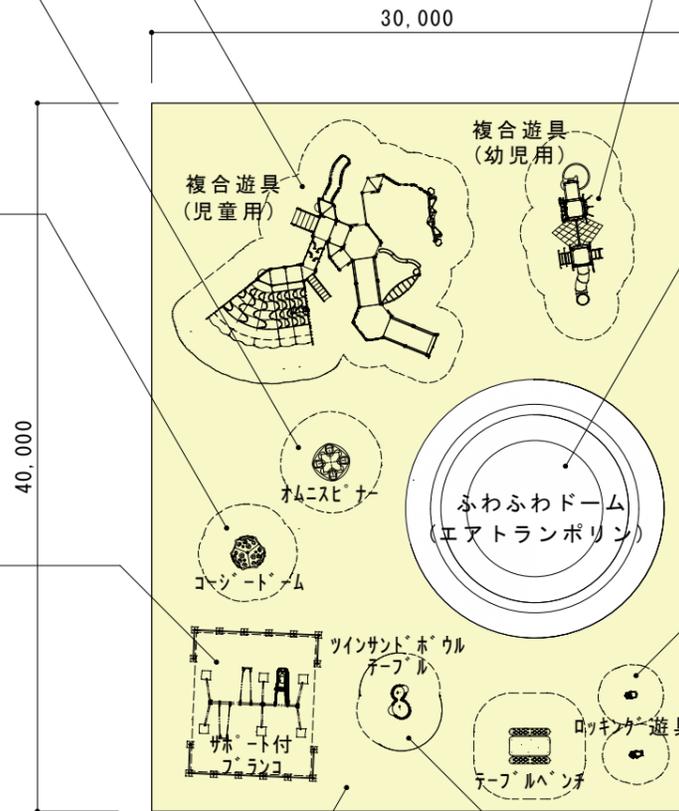
車いすでも遊べる複合遊具
(児童用6~12歳程度)



五感を使う仕掛けがある複合遊具
(幼児用3~6歳程度)



少人数で過せる居場所
(コージードーム)



遊具広場(テント大屋根)平面イメージ図 1:400



サポート付ブランコ



クッション性舗装
(ゴムチップ舗装)



子ども達に大人気のふわふわドーム
(エアトランポリン)



ロックンギ遊具



車いすでも遊べる砂場遊具
(ツインサントポールテーブル)

■防災機能のイメージ

園内に防災機能を備えたストリートファニチャーを設置し、災害時の一時避難や炊き出しなどに対応できる計画とします。



テントとして利用できるパーゴラ



炊出しに対応したかまどベンチ



停電時も利用できるソーラー照明



夜間も安心安全な歩道

■公園サインのイメージ

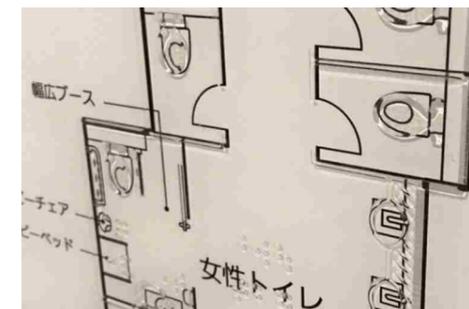
ユニバーサルデザインを取り入れ、多言語や点字等に対応し、統一感のある景観に調和した分かりやすい計画とします。



デザインを統一したサイン



災害時対応に配慮したサイン



点字を取り入れたサイン



遊具の案内サイン

(3)イメージパース







6 計画策定の経緯

常陸大宮駅西交流拠点基本計画等の策定経緯

本計画は、市民からの意見や専門的知見を計画に反映させるため、市民ワークショップやアンケート調査、サウンディング調査、社会実験、各種委員会での審議などを経て、策定しました。

開催日	内容
平成29年3月	常陸大宮駅周辺整備基本計画策定
令和2年 3月	常陸大宮駅周辺整備計画策定
令和2年 3月	常陸大宮駅西交流拠点化構想策定
令和2年 7月22日	第1回常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会
令和2年10月28日	第2回常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会
令和2年12月22日	第1回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会
令和3年 2月27日	第1回公園づくりワークショップ
令和3年 3月19日	第3回常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会
令和3年 3月25日	第2回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会
令和3年 4月	常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会意見把握
令和3年 5月28日	第3回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会
令和3年 9月29日～10月5日	民間活力導入に関するサウンディング型市場調査
令和3年10月 9日	第2回公園づくりワークショップ
令和3年12月10日・11日・18日	社会実験(インクルーシブ遊具体験, 照明の実証実験)
令和4年 1月18日	第4回常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会
令和4年 2月 3日	第4回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会
令和4年 3月 1日	庁議付議
令和4年 3月	策定・公表

7 市民意向の把握

本計画の策定にあたり、計画段階から積極的な市民参加を図り、より幅広い意見を取り入れるとともに、協働による「まちづくり」を目的として、全2回のワークショップを開催しました。各ワークショップでは、設定したテーマをもとに意見交換を行い、主な意見は以下のとおりとなっています。

(1)第1回ワークショップ「公園づくりワークショップ」

1)ワークショップの概要

これからの新しい公園を考えるにあたって、「にぎわいの創出」、「インクルーシブ・パーク」、「公園の防災機能について」の3つのコンセプトを踏まえ、「こんな公園になったらいいな」の意見やアイデアを出し合う場として開催しました。公募により市民24名が参加し、20代から60代まで幅広い年代にわたりました。

2)ワークショップの内容

A～Eグループの5つのグループに分かれ、「こんな場所があったらうれしい!」、「この場所でこんなことしたい!」をキーワードにグループワークを行いました。これらのアイデアから見えてくる「公園の未来の風景」を想像し、グループごとに案をまとめて、発表を行いました。



3)主な意見, アイデア

Aグループ

～体験学習ができる「コミュニケーションスペースの整備」～

- ・多世代交流, 地域の体験学習, 地震や防災のことが学べる公園
- ・死角がない安心安全な公園
- ・トイレの機能充実(防災, 授乳, おむつ替えなど)
- ・カフェは必須
- ・特産の和紙を活かす
- ・雨の日も遊べる公園
- ・中高生が遊べる公園
- ・サイクリングロード, 健康器具, 水の遊び場など, 子どもも大人も運動できる公園
- ・定期的にイベントを開き, 公園ににぎわいを生む

Bグループ

～「大人も子どもも好きな楽しい場所」・「常陸大宮に無いもの」

「カッコイイ場所」・「娯楽」・「パパ目線」～

- ・お父さん, パパ目線の公園
- ・子どもが楽しめるのはもちろんだが, 大人も楽しめる場所
- ・「みんな自然が好き」から生まれる交流やイベントができる場所
- ・カッコイイ場所, シンボリックな場所, 施設の充実
- ・体験やアクティビティがきちんと整備された場所
- ・おいしい物が食べられる, 飲めるレストラン

Cグループ

～「なんにもないけど全部あるパーク!」～

- ・大人が欲しいものと子どもが欲しいものが両方ある公園
- ・スポーツなど, だれでも楽しめるアクティブな公園
- ・パン屋, カフェ, テイクアウトなど
- ・この場所にしかないユニークなトイレなど, トイレに特化した公園があってもいい
- ・常陸大宮には特色がないけれど, この公園に来れば何でもできる, 何度でも来たくなる公園

7 市民意向の把握

Dグループ

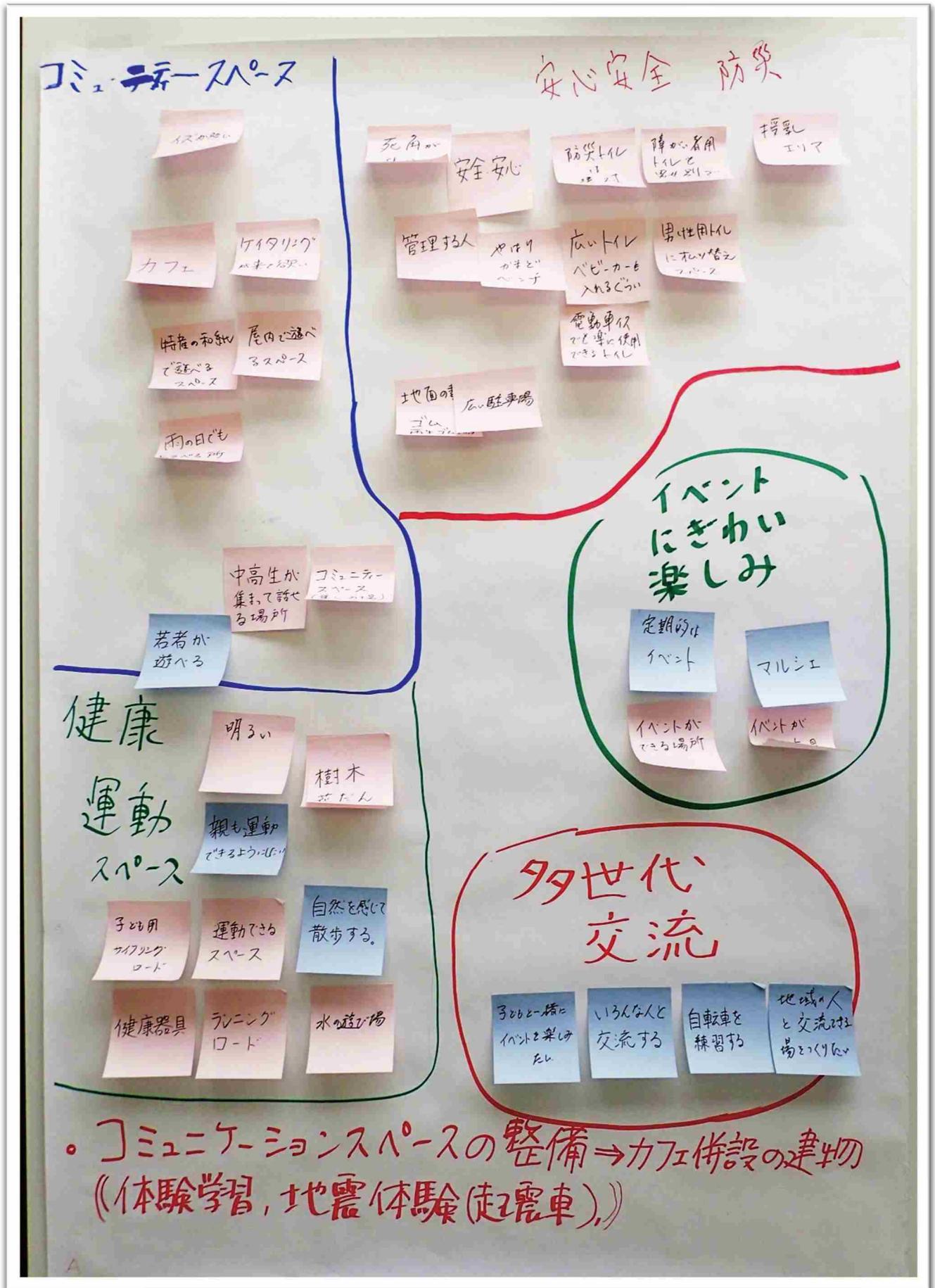
- ～「人生を豊かに！」アクティブにも一人にして…にも対応した公園～
- ・「アクティブ」と「一人にして」の両極端、正反対の性質に対応した公園
 - ・何もない広くてきれいな広場、静かに落ち着ける場所
 - ・買い物や運動ができるアクティブな場所
 - ・今の常陸大宮にはない魅力的な場所
 - ・イベント、映画鑑賞、コンサートなどができる場所

Eグループ

- ～「手ぶらで遊べる全世代型インクルーシブ・パーク！」～
- ・「子どもも大事」「高齢者も大事」の融合を体現した公園
 - ・誰でも遊べる段差のない公園
 - ・公共交通も巻き込んだ、安全にアクセスできる公園
 - ・手ぶらで来ても遊べる、その場所で飲食ができる
 - ・公園の管理者として、子育てや介護を援助する「助け合いのリーダー」を育成する場

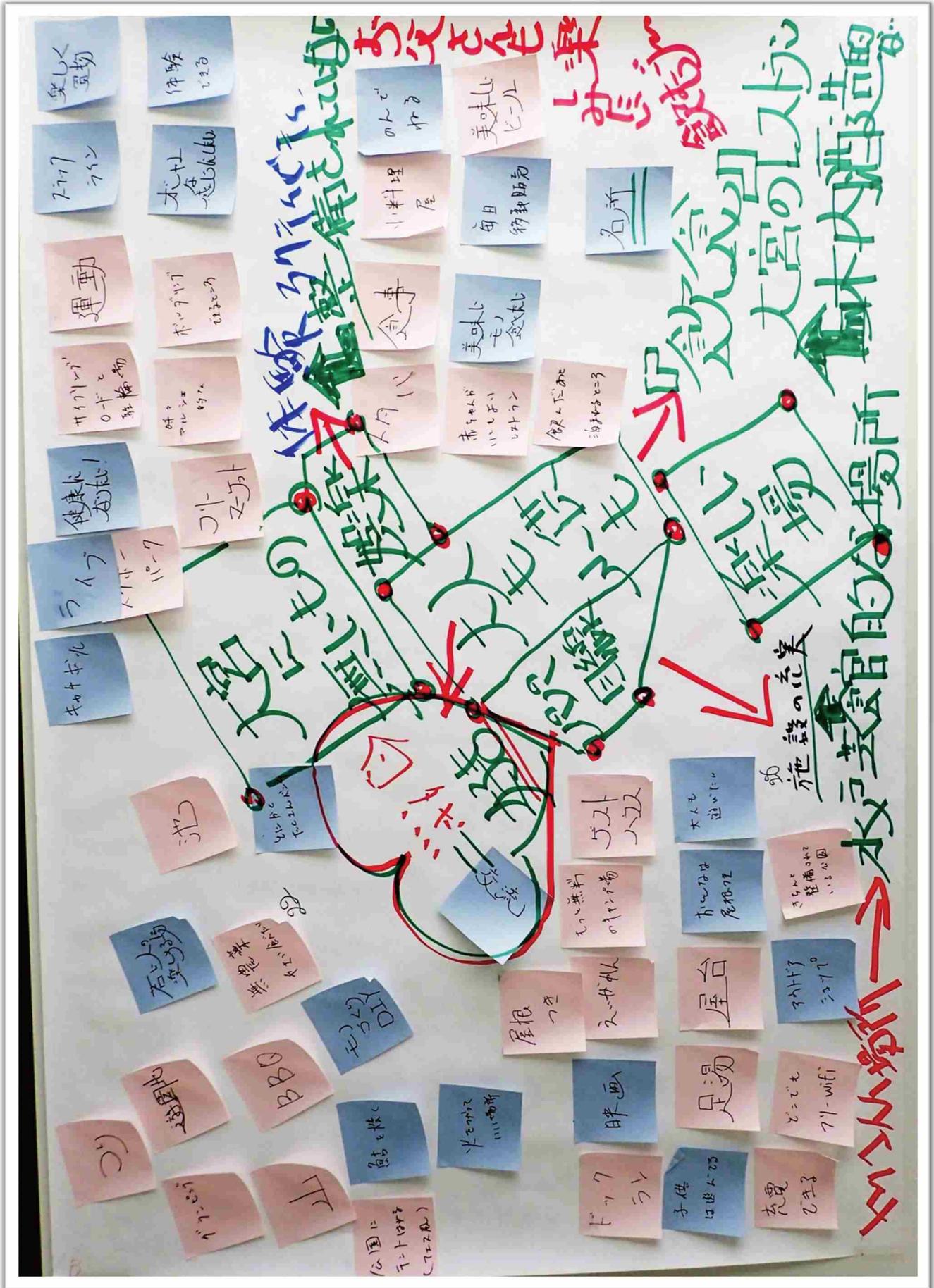


■ Aグループの意見・アイデア



7 市民意向の把握

■ Bグループの意見・アイデア



■Cグループの意見・アイデア

なんにもないけど"全部ある パーク！

児童館

多目的トイレ
以外で
おむつ替え
場所がほしい

展望台

屋根つき
ベンチ

昼寝できる
ひかげ

キャンプ場

室内
遊び場

きれいな
トイレ

シャワー

ランチ
お弁当
テイクアウト

焼き立て
パン屋
さん

アウトドア
ショップ

めちゃくちゃ
きれいな
トイレ

読書

ひるね

食卓
スペース

野菜たっぷり
スープ
テイクアウト

美味しい
カレー

バーベキュー

ライク

天体観望

大人が欲しい

公園でしたいこと

水遊びが
できる公園

公園に
トランポリン

サイクリング
コース

フットサル場

バドミントン

体をおもしろ
動かせたい
場所

広い芝生
の広場

遊具
たくさん
みんな集って
回遊遊具

ウォーキング

子ども
サロ

スケート
ボード場

ジョギング

自然に囲まれた
リフレッシュする
場所

大きな
ブランコ

ロングレール
コース

リフトスライダー

バスマット
コート

ジョギング
アスレチック

大きな
ジャングル
ジム

アスレ
チック

メガジップ
ライン

走りたい

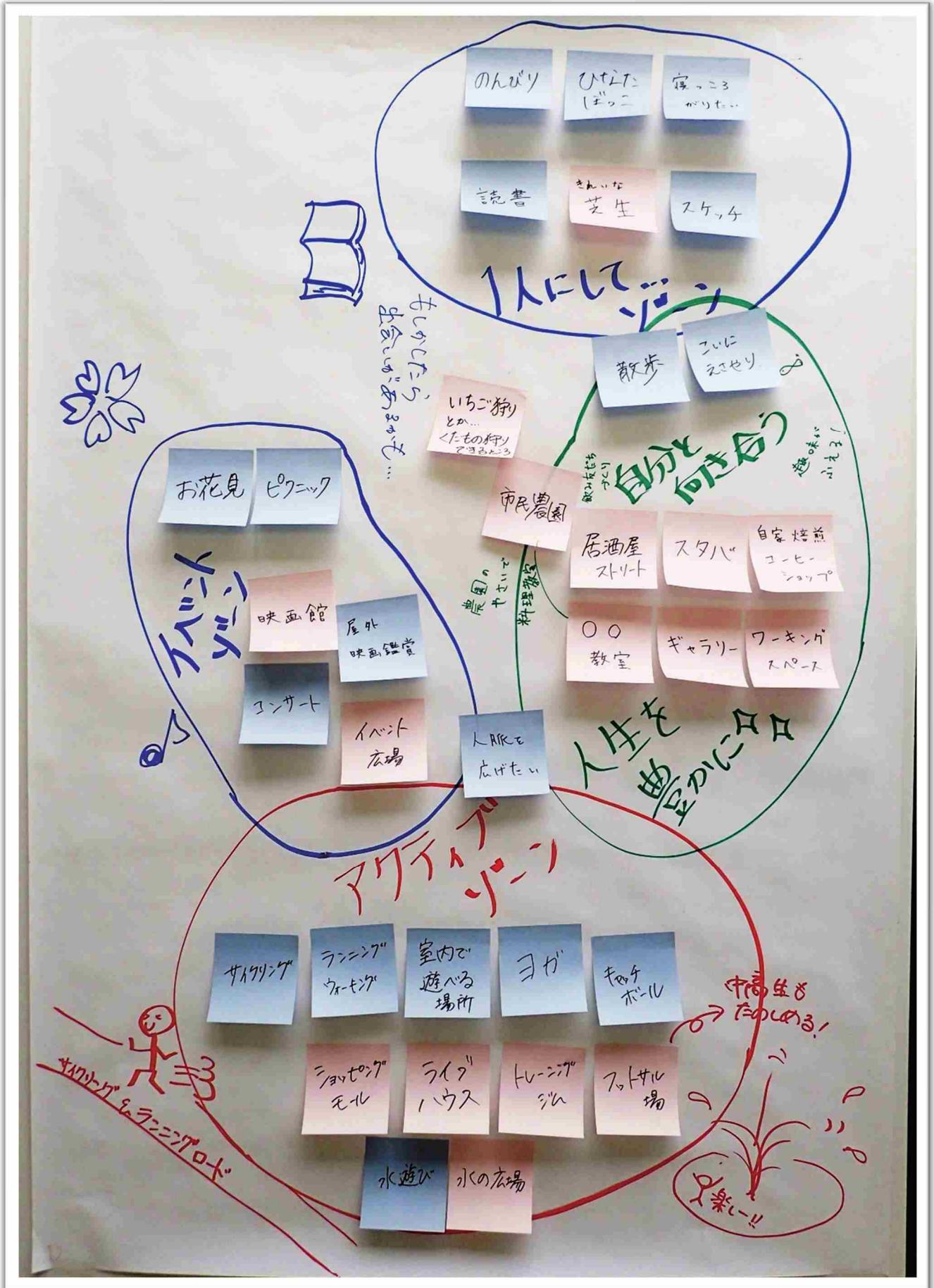
1周回できる
ウォーキング
コース

アクティブ"に過ごす

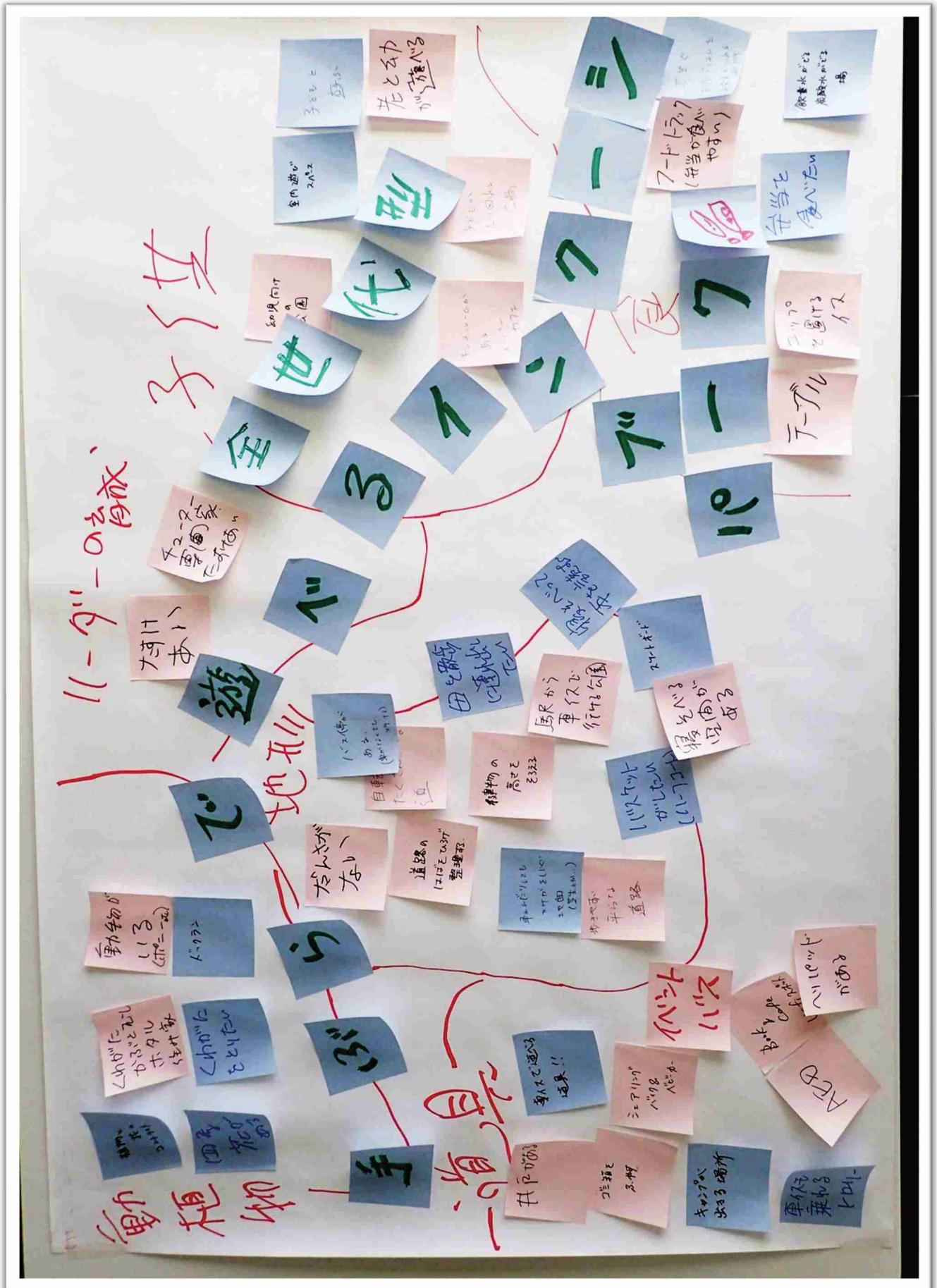
子どもが
あつらいいな

7 市民意向の把握

■Dグループの意見・アイデア



■ Eグループの意見・アイデア



7 市民意向の把握

4) アンケート結果

「公園づくりワークショップ」の参加者を対象にアンケートを行い、駅西交流拠点(公園)に対して期待している点について意見を聞き、主に下記の回答がありました。

- ・年齢や障がいの有無に関わらず、いろいろな人が集まれる場所になってほしい。
 - ・車椅子で楽しく過ごせる公園にしてほしい。
 - ・多目的に利用できる施設にしてほしい。
 - ・防災機能も欠かせない。
 - ・サステナブルデザインやSDGsなどにも取り組んでほしい。
 - ・カフェがあると良い。
 - ・公共交通機関と連携したアクセスの良い公園をつくってほしい。
 - ・ただの公園ではなく、この場所ならではの特色を持った公園にしてほしい。
 - ・室内の遊び場、児童館がほしい。
- など



(2)第2回ワークショップ 「子育て世代にやさしいカフェ」

1)ワークショップの概要

これまでに市民から「公園にカフェは必須！」という意見を多くいただいております。駅西交流拠点に必要とされるカフェのイメージをより具体的にするため、子育て世代を対象に「第2回ワークショップ」を開催し、12名が参加しました。「女性と子どもたちが毎日行きたくなる公園」を目指して、「にぎわいの創出」、「インクルーシブ・パーク」、「防災機能の充実」の3つの要素を合わせもつ交流拠点にふさわしい公園カフェのイメージを描いてみました。

2)ワークショップの内容

A～Dグループの4つのグループに分かれ、以下のテーマについてグループワークを行い、アイデアをまとめました。

- ① カフェで「なに」をしたい？
- ② それには「なに」が必要？
- ③ 意見の分類・キーワードの書き出し
- ④ 必要な「もの」に優先順位付け
- ⑤ カフェのイメージを膨らませる



7 市民意向の把握

3)主な意見, アイデア

A. ショートケーキグループ

～「公園とつながる緑のあるカフェ」～

- ・木や木目調のオープンなカフェ（外で遊んでいる子どもたちが見える）
- ・自然や木と花があるリラックスできる場所
- ・駅を利用する学生が待ち合わせできる場所
- ・赤ちゃんを連れていける場所

B. コーヒーグループ

～「親子で満足」～

- ・子どもの空間は絶対必要
- ・子どもも大人も満足できる飲食スペース
- ・異空間 季節で異なったイベントが開催される癒しのスペース

C. クリームドリンクグループ

～「子どもと遊びに行けるカフェ」～

- ・小さい子が遊ぶ室内遊具がある場所
- ・小さい子も連れていける座敷があるカフェ
- ・子どもが走り回ってもいい安全な机や床

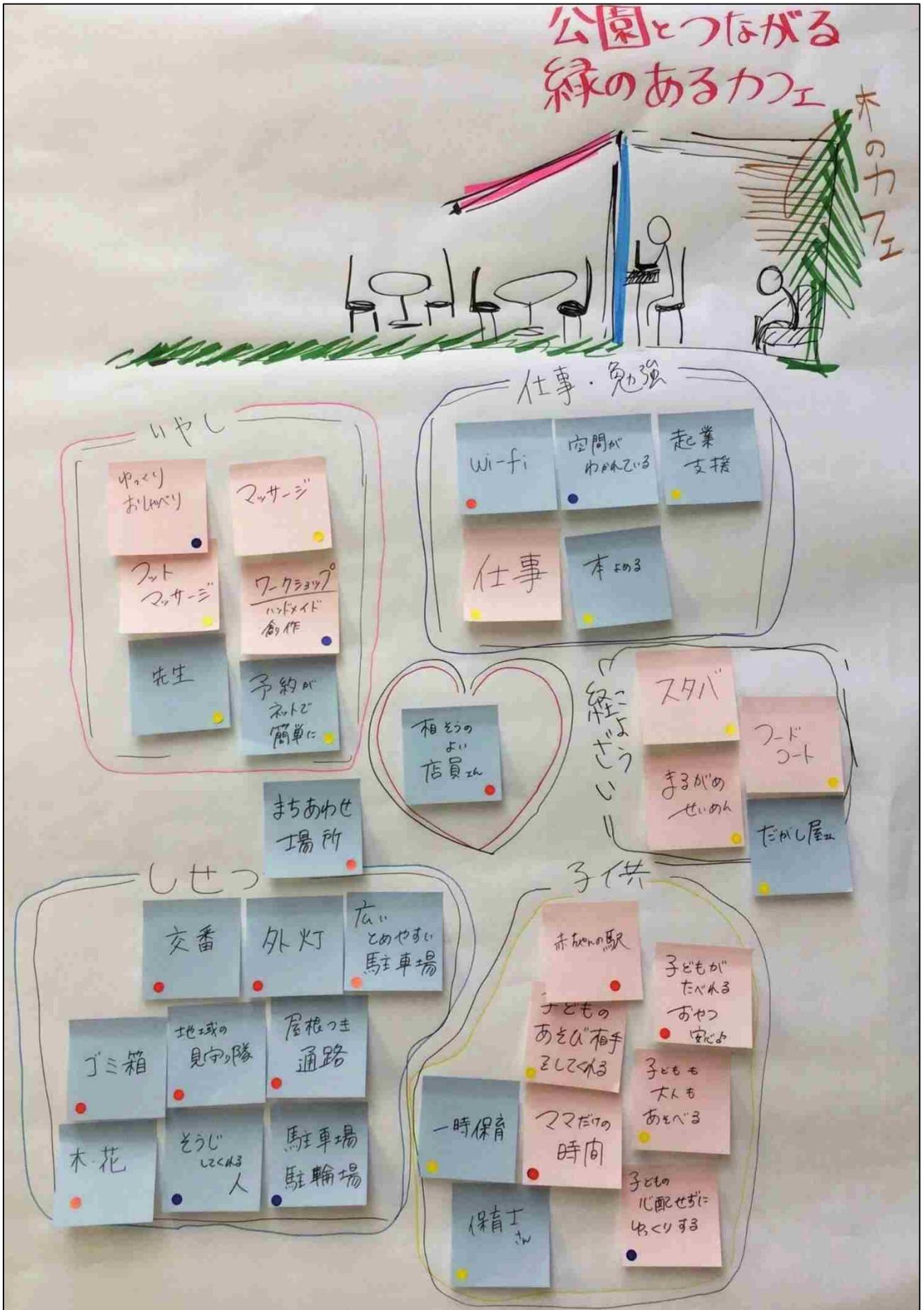
D. スープグループ

～「公園と一体化したカフェ」～

- ・テラス席がほしい
- ・テイクアウトを気持ちのよい芝生で食べられる
- ・バリアフリー, SDGs 対応, エコなものを使う



■ A. ショートケーキグループの意見, アイデア

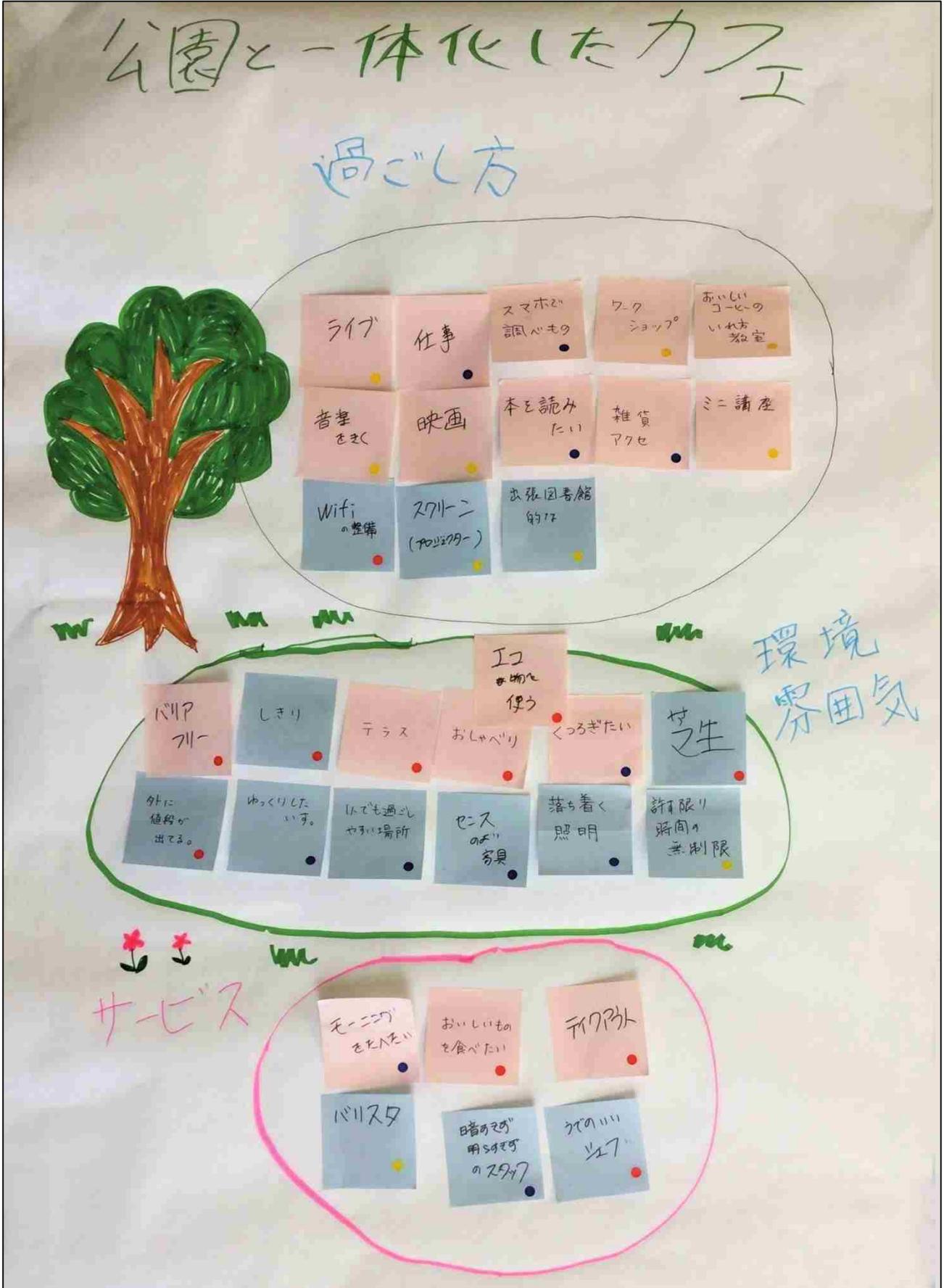


■C. クリームドリンクグループの意見, アイデア



7 市民意向の把握

■D. スープグループの意見, アイデア



4) アンケート結果

第2回ワークショップの参加者を対象にアンケートを行い、駅西交流拠点全体に対しての意見・要望を聞き、主に下記の回答がありました。

- ・人も物も優しいものになれるような公園になるといい。
- ・ソフト面（人，サービス）を重視してほしい。
- ・安心安全に過ごせる場所にしてほしい。
- ・大人も子どもも楽しめる公園ができるといい。
- ・雨天関係なく遊べる空間があるといい。
- ・ゆっくりお話しができる空間があればうれしい。
- ・年齢に合わせてエリア分けしてほしい。
- ・小学生，中学生以上が遊べるフリースペースやボルダリングなどもあるといい。
など



7 市民意向の把握

(3)社会実験「インクルーシブ遊具体験・照明実証実験」

1)社会実験の概要

駅西交流拠点を整備するにあたり、「にぎわい」、「インクルーシブ」、「防災機能」及び「夜間照明」の検証を行うため、計画地を会場として社会実験を実施しました。

■日時

昼の部：令和3年12月10日(金)・11日(土)10時～15時

夜の部：令和3年12月18日(土)17時～20時

■場所

常陸大宮駅西市有地（交流拠点計画地）

■内容

昼の部：インクルーシブ遊具体験，防災設備の展示（かまどベンチなど），水消火器による防災・防火体験

夜の部：疑似照明の設置，光が及ぼす周囲への影響，最適な明るさの検証

昼夜共通：キッチンカーの出店，ワークショップの開催によるにぎわい・交流の創出

■来場者数（3日間合計：延べ人数）

日時	男性	女性	子ども	計
12月10日(金)	62	113	72	247
12月11日(土)	143	259	369	771
12月18日(土)	104	171	229	504
計	309	543	670	1522

■ワークショップ参加人数（3日間合計：延べ人数）

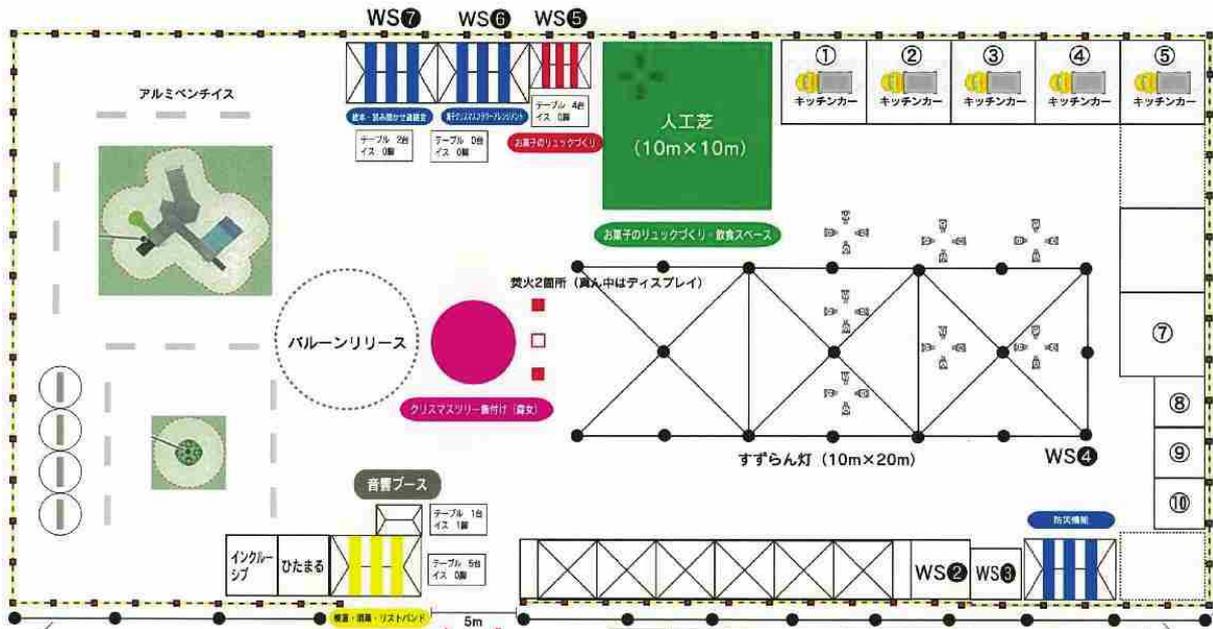
内容	計
お菓子のリュックづくり(2日間)	315
親子クリスマスフラワーアレンジメント(1日間)	16
絵本の読み聞かせ(2日間)	70
防災・防火体験(1日間)	300
専門学校ワークショップ(1日間)	300
クリスマスキャンドルづくり(3日間)	120
市内高等学校キャンドルづくり(1日間)	20
バルーンリリース(2日間)	300
光のらくがき(1日間)	300
計	1741

■キッチンカー・物販店出店数

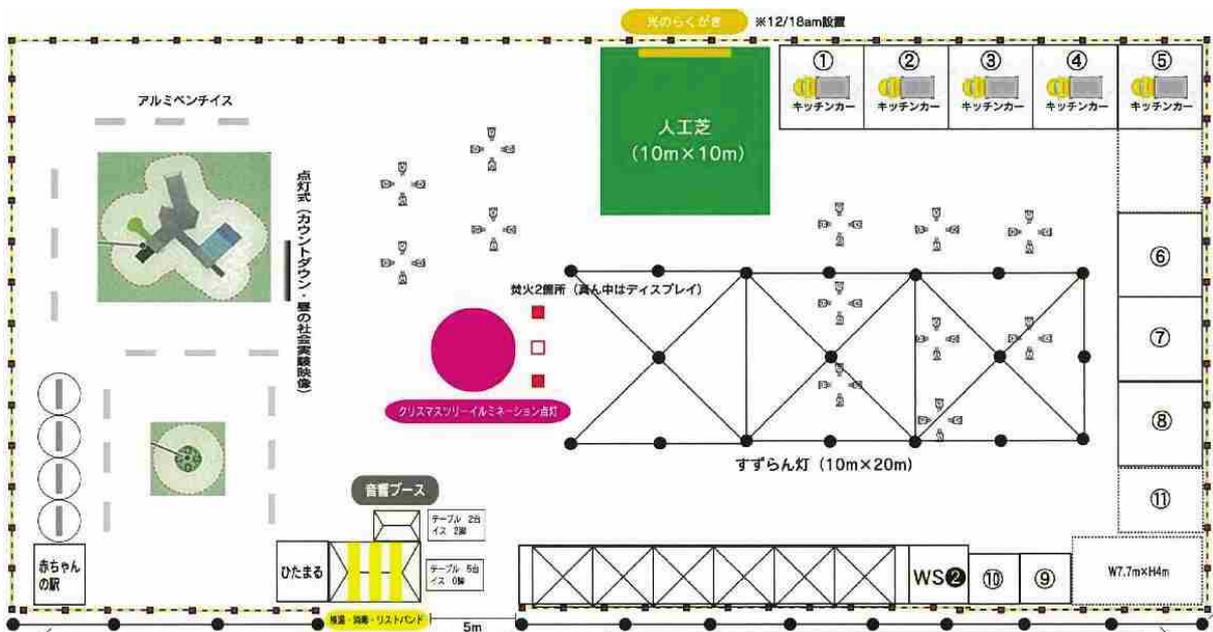
日時	計
12月10日(金) 10:00～15:00	7
12月11日(土) 10:00～15:00	11
12月18日(土) 17:00～20:00	12
計	30

■会場レイアウト

・昼の部：令和3年12月10日(金)・11日(土)10時～15時



・夜の部：令和3年12月18日(土)17時～20時



会場入口



バルーンリリース



遊具で遊ぶ子どもたち

7 市民意向の把握

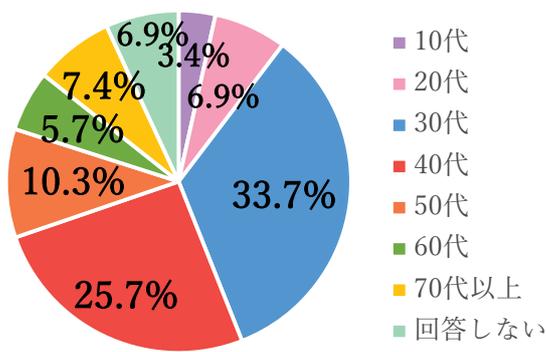
2) アンケート結果

① 昼の部：交流拠点のコンセプトに基づく公園の体験

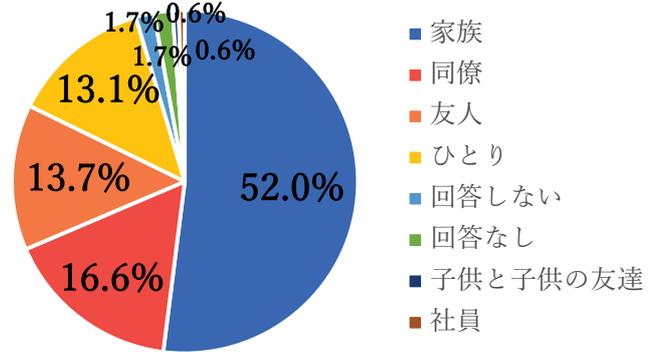
アンケート回答数 175 件

■ 来場者について

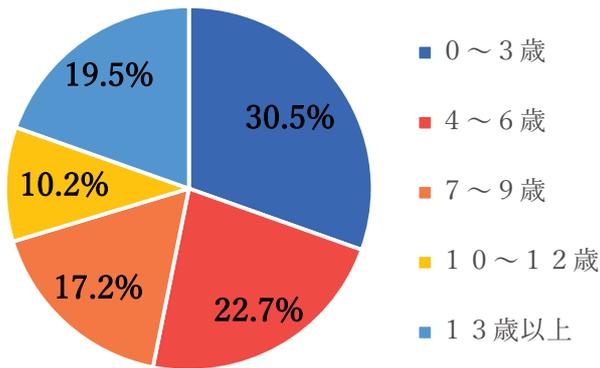
30代から40代までが最も多く、また、来場者の構成については、家族での来場が半数以上を占めていることから、子育て世代の関心が高いことが分かりました。



来場者の年代



来場者の構成



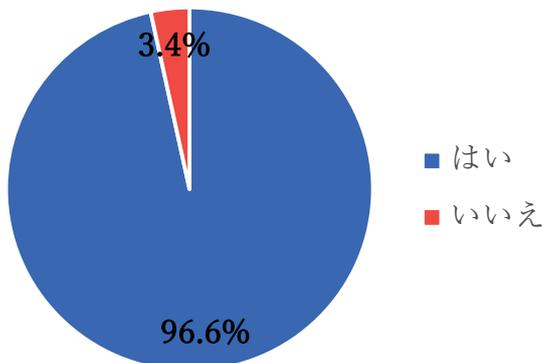
子どもの年齢
(来場者でこどもがいる世帯)



インクルーシブ遊具
(プレイポートワンダー)

■ インクルーシブ遊具の設置要望について

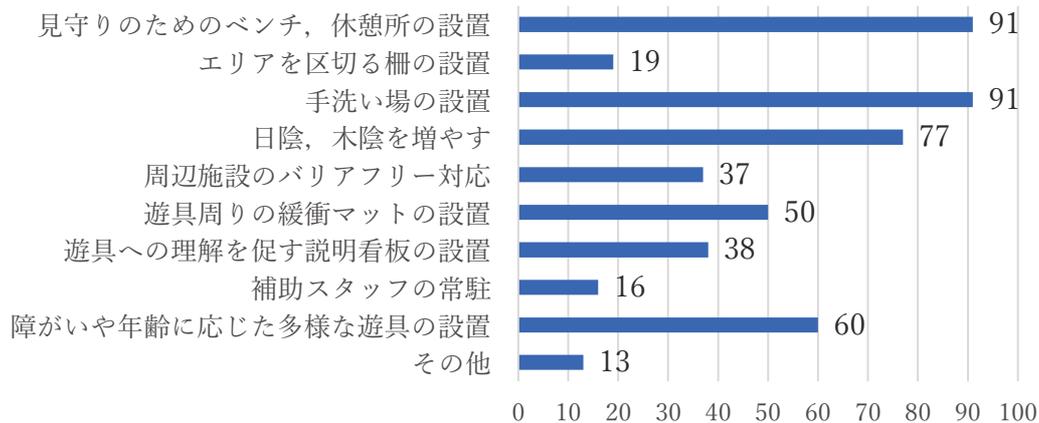
交流拠点にインクルーシブ遊具を設置して欲しいという意見が大半を占めました。



インクルーシブ遊具
(オムニスピナー)

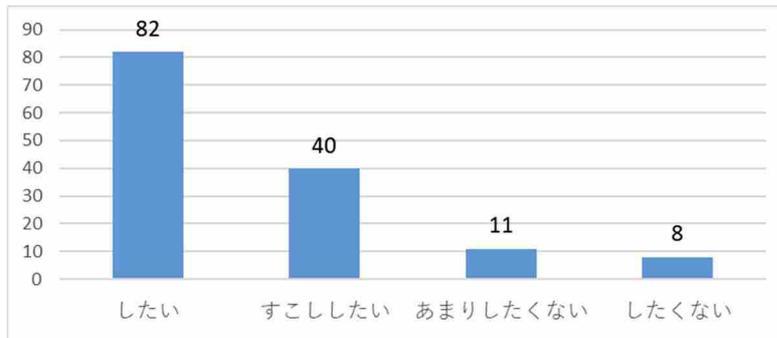
■インクルーシブ遊具のある遊び場整備への配慮事項について(複数選択)

ベンチや休憩所、手洗い場の設置や日陰を増やすなどの意見が多く聞かれました。



■ワークショップ体験について

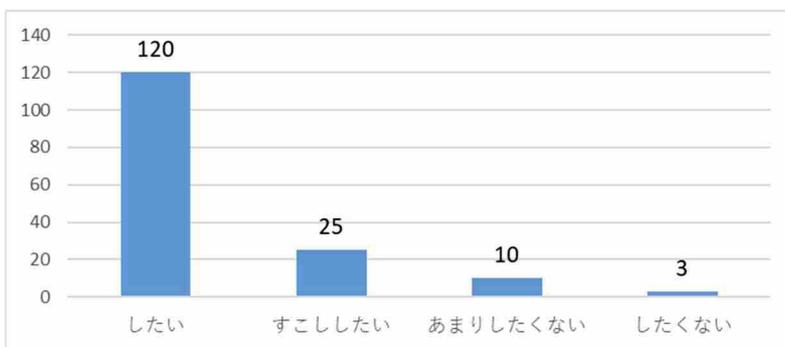
交流拠点でワークショップなどのイベントが開催された場合、「参加したい」という意見が大半を占めました。



ワークショップ

■キッチンカーについて

交流拠点にキッチンカーが出店された場合、「利用したい」という意見が大半を占めました。



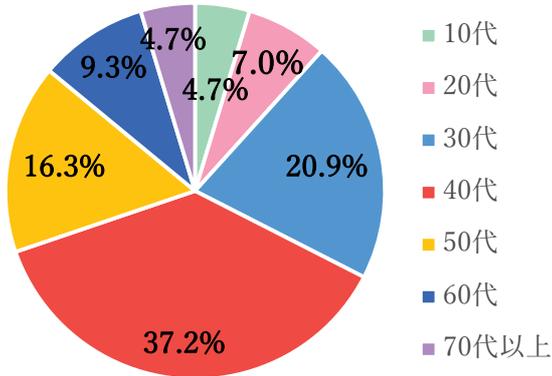
キッチンカー(昼の部)

7 市民意向の把握

② 夜の部：防犯に配慮した安心・安全な明るい公園の体験

アンケート回答数：43件

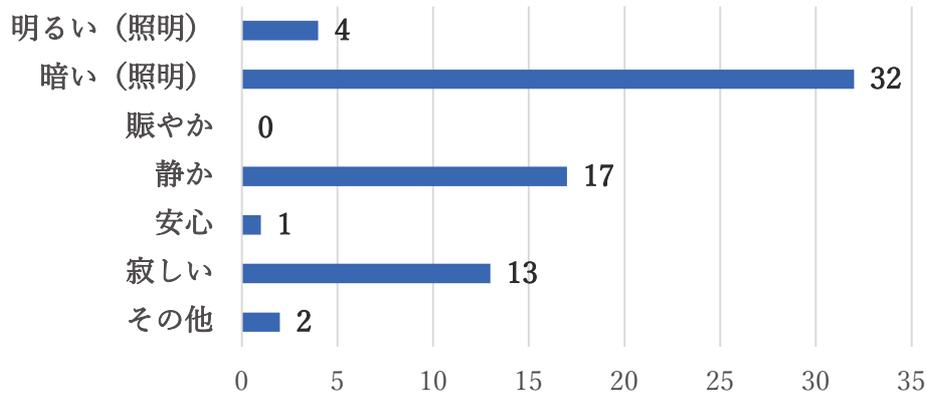
■来場者について



夜の部の会場

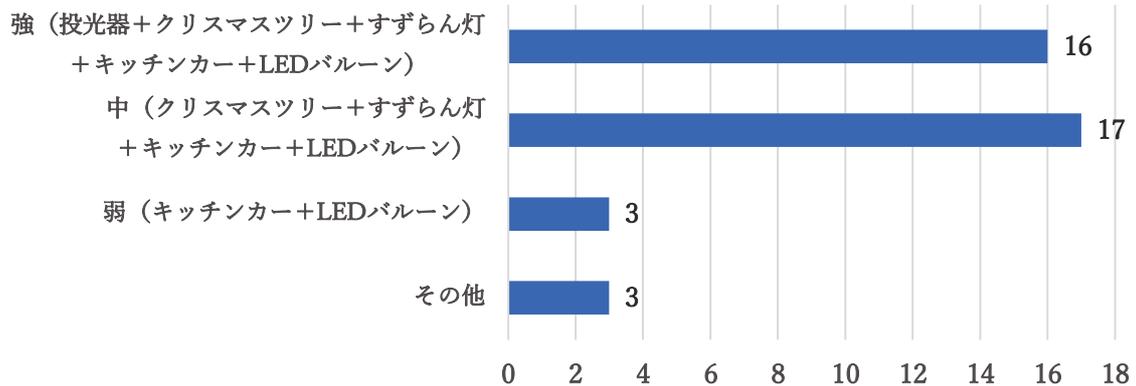
■駐車場(あるいは駅など)から会場までの様子について(複数選択)

「暗い」、「静か」、「寂しい」という意見が多く聞かれました。



■会場の照明について

「強」または「中」を選んだ方が多く、明るい方が良いとの意見が大半を占めました。



クリスマスツリー



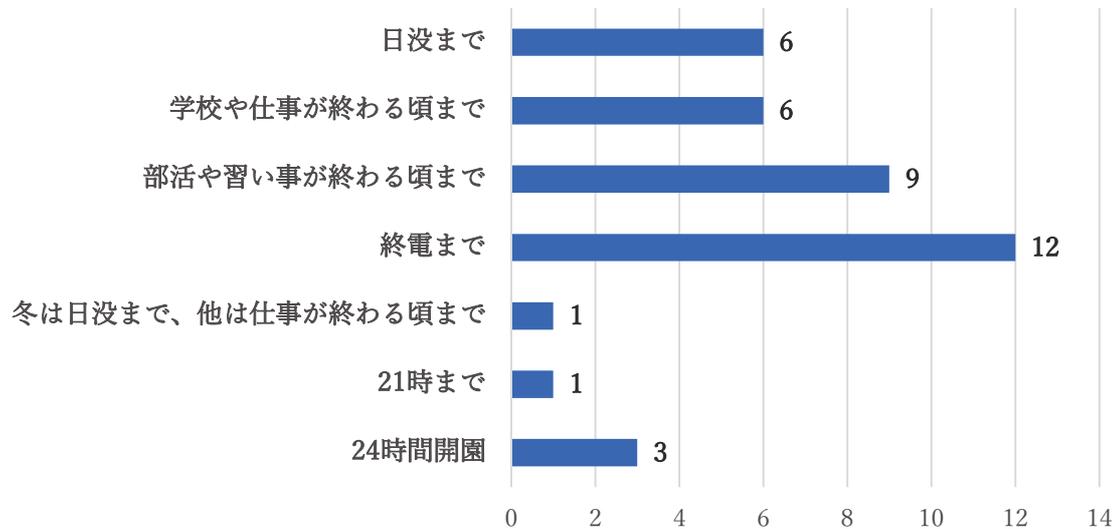
すずらん灯



LEDバルーン

■交流拠点の閉園時刻について

「終電まで」や「部活や習い事が終わる頃まで」を選んだ方が多く、駅や駅周辺施設の利用時間に影響されやすいことが分かりました。



③ その他、交流拠点整備に関する主な意見・要望（昼の部、夜の部共通）

- ・ベビーカーでも歩きやすいようにゴム素材のものを入れてほしい
- ・遊具をたくさん置いて欲しい、車椅子で楽しめる仕掛けがたくさん欲しい
- ・できたら芝生を増やして欲しい
- ・安全面の徹底、騒音対策の徹底、明るさの配慮などをお願いしたい
- ・雨天日にも使用することができる施設があるといい
- ・子供だけで安全に入れるトイレが設置されているといい
- ・遊具だけではなく、施設全てがインクルーシブなものになって欲しい
- ・子育て世帯としては、駅前に公園ができればとても助かる
- ・日陰になる場所がほしい
- ・防災機能を充実させてほしい
- ・水の広場のような遊び場があるといい
- ・今までが暗いので少しでも明るくなるといい
- ・子供が公園に安心して行ける歩道を整備してほしい
- ・安全に明るく、気軽に立寄れる場所であって欲しい
- ・常陸大宮市には小さな子が遊べる公園がないので良いと思う
- ・定期的にイベントやワークショップを開催してほしい
- ・子どもから大人まで様々な世代の方の交流を深める場になれば素敵だと思う



昼の部の会場



光のらくがき



キッチンカー(夜の部)

7 市民意向の把握

3) 考察・まとめ

今回の社会実験により、駅西交流拠点整備のコンセプトである「にぎわい」、「インクルーシブ」、「防災機能」や公園の「夜間照明」について、参加者から様々な意見をいただき、一定の効果を確認することができました。

また、コロナ禍の中、天候的に寒い時期にも関わらず、本整備（公園利用者）のターゲットである子育て世代の親子や地域住民の参加者が多く見られ、駅周辺整備事業の中でも特に関心度が高い事業であることが感じられました。

インクルーシブ遊具の体験については、体験者やアンケートの結果からもインクルーシブの考え方に共感していただき、全国的にもまだ未整備が多い遊具でもあるので、整備に期待が高いことが確認できました。

公園利用者を想定した駐車場については、文化センター・図書情報館から社会実験会場（駅西交流拠点計画地）までのアクセス（距離・時間）などの否定的な意見は見受けられなかったものの、交流拠点の整備に合わせ、安心・安全な道路整備が必要であると考えます。

駅周辺整備の計画（にぎわい創出）にある回遊性を高めるまちづくりとして、駅西エリアの公共施設（図書情報館）との連携を図ることを目的に、絵本の読み聞かせなどの各種子育て支援のワークショップを実施しましたが、3日間を通して来館者が増加し、相乗効果も得られることが実証されたので、今後のまちづくりの方向性も確認することができました。

オープンスペースの活用方法としては、コロナ禍の新しい生活様式に対応した公園の整備として、キッチンカーの配置についても検討をする必要があると考えます。

子育て世代の親子や女性をターゲットにしたイベント的なにぎわいを創出するだけでなく、地域住民の憩い・交流の場としても活用できるような継続的な企画立案を検討してまいります。

参加者やワークショップの出店者、アンケートの結果からも、駅周辺のまちづくりに携わりたい方が多くいることが確認できたため、今後は、駅西交流拠点の整備だけでなく、常陸大宮駅を中心とした市街地のまちづくりに関心を持つ方々を組織する仕組みづくりが重要であり、必要である考えられます。

安心・安全な街の中の魅力ある公園となるよう、今後の実施設計において、今回の結果を反映させながら、さらに具体的な検討を行ってまいります。



8 民間活力導入に関するサウンディング調査

1)目的

本調査は、事業発案段階として、民間事業者との対話を通じて常陸大宮駅西交流拠点の官民連携に関する事業アイデアや実施に際して課題などの意見をヒアリングし、事業展開の参考としていく事を目的に実施しました。

※サウンディングとは

事業発案段階や事業者段階において、事業内容や事業スキームなどに関して直接の対話により、民間事業者の意見や新たな提案の把握などを行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法です。また、対象事業の検討の段階で広く対外的に情報提供することにより、当該事業への民間事業者の参入意欲の向上を期待するものです。

2)実施経過

日 程	内 容
令和3年7月 1日(木)	実施要領の公表
令和3年8月 5日(木)～ 8月11日(水)	説明会及び現地見学会の開催
令和3年9月29日(水)～10月 5日(火)	サウンディングの実施

3)参加事業者

- (1) 説明会・現地見学会
2事業者
- (2) サウンディング参加数
2事業者

4)主な調査（意見など）内容

- ・官民連携による管理・運営手法の提案
- ・地域活性化に資する提案
- ・常陸大宮駅西口全体を関連させた提案
- ・その他（常陸大宮駅周辺整備事業、常陸大宮駅西交流拠点についての要望・意見など）

8 民間活力導入に関するサウンディング調査

5) 結果概要

対話項目	1. 官民連携による管理・運営手法の提案
主な意見概要	<ul style="list-style-type: none">・ 行政施設を直営管理している場合には、他行政施設を含め包括的な管理にするよう検討し、連携化を図ることが有効である。・ 指定管理者制度を採用する場合には、他行政施設との連携が煩雑にならないよう役割分担を明確にする必要がある。・ リース方式又はBTO方式が適当である。・ 補助制度を活用する場合には、BTO方式が適当である。
対話項目	2. 地域活性化に資する提案
主な意見概要	<ul style="list-style-type: none">・ 人が集まる仕組みをつくり、プレイスペースなどの機能を複合化し、駅西交流拠点を補完する副次的な地域拠点とすることも有効である。・ 様々な民間機能の導入効果を継続的なものとするためにも、地域の多様な主体と多世代の参画が、コミュニティの形成及び強化にも重要な役割を果たすものとする。・ コンソーシアム（共同事業体）構成企業として、地元企業と事業展開を図ることは可能である。
対話項目	3. 常陸大宮駅西口全体を関連させた提案
主な意見概要	<ul style="list-style-type: none">・ ハード事業も大切だが、まちのコンセプトを維持しながら、エリアマネジメントの概念を取り入れていくことが望ましい。・ 整備エリア全体の管理を行う場合には、管理できる事業者が見つければ可能だが、管理・運営の課題として、行政施設などとの連携を図る際に、それぞれの管理事業者と合意形成が煩雑になると考える。
対話項目	4. その他
主な意見概要	<ul style="list-style-type: none">・ 民間活力導入可能性調査などを実施し、民間事業者の参画条件・実現可能な内容を整理することが必要と考える。・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設の収益性はあまり期待できない状況である。・ トライアルサウンディングなどを実施して、内容を精査するのもよい。・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業者の参入が難しい状況である。・ 今後内容を精査し、再度サウンディングを行うのもよい。

6) まとめ

施設の管理・運営については、指定管理者制度や官民連携手法などの導入が考えられるとともに、整備エリア全体を管理するエリアマネジメントの概念も取り入れるなど様々な提案があり、今後さらに検討を進めていく必要があります。

9 各種委員会

(1) 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会

本計画の策定にあたっては、市民、学識経験者や関係団体の職員をはじめ、若者の幅広い意見を反映させるため、大学生、市内高等学校・中学校の生徒により常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会を組織し、検討しました。

1) 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会名簿

委員長	熊澤 貴之	茨城大学工学部都市システム工学科教授
副委員長	眞崎 由香	茨城キリスト教大学看護学部看護学科講師
委員	猿田 茂彦	常陸大宮市社会福祉協議会事務局長(令和2年度)
委員	佐藤 浩之	常陸大宮市社会福祉協議会事務局長(令和3年度)
委員	海老根 静子	常陸大宮市商工会女性部長(令和2年度)
委員	石井 政子	常陸大宮市商工会女性部長(令和3年度)
委員	鈴木 克佳	常陸大宮市PTA連絡協議会会長(令和2年度)(小中学校保護者代表)
委員	藤田 大樹	常陸大宮市PTA連絡協議会会長(令和3年度)(小中学校保護者代表)
委員	宮本 亜希子	常陸大宮市立大宮幼稚園PTA会長(令和2年度)(幼稚園保育園保護者代表)
委員	岡崎 瞳	常陸大宮市立大宮幼稚園PTA会長(令和3年度)(幼稚園保育園保護者代表)
委員	後藤 直美	地域子育て支援センター代表, 私立大宮聖愛保育園園長
委員	梶山 登司	常陸大宮市区長会会長
委員	二瓶 廣美	常陸大宮市国際交流協会会長
委員	茅根 和史	NPO法人あきない組代表
委員	西村 和也	きらきらタウンひたちおおみや実行委員会
委員	高田 樹	茨城大学院生
委員	稲川 明音	茨城キリスト教大学生
委員	猿田 梨七	茨城県立常陸大宮高等学校生徒会会長
委員	内藤 瑠南	茨城県立小瀬高等学校生徒会会長
委員	笠井 美空	常陸大宮市立大宮中学校生徒会会長(令和2年度)
委員	平塚 美咲	常陸大宮市立大宮中学校生徒会会長(令和3年度)
委員	橋向 悠人	常陸大宮市立大宮第二中学校生徒会会長(令和2年度)
委員	齋藤 琴奈	常陸大宮市立大宮第二中学校生徒会会長(令和3年度)
委員	渡未 ふわり	常陸大宮市立大宮第二中学校生徒会会長(令和3年度)
委員	小森 淳平	常陸大宮市立山方中学校生徒会会長(令和2年度)
委員	池田 直矢	常陸大宮市立山方中学校生徒会会長(令和3年度)
委員	森嶋 洸樹	常陸大宮市立明峰中学校生徒会会長(令和2年度)
委員	伊坂 勁飛	常陸大宮市立明峰中学校生徒会会長(令和3年度)
委員	堀江 信宏	常陸大宮市企画政策課長(令和2年度)【総合計画・総合戦略関係】
委員	高村 陽一	常陸大宮市企画政策課長(令和3年度)【総合計画・総合戦略関係】
委員	立原 千鶴子	常陸大宮市こども課こどもG課長補佐【子育て支援関係】
委員	海老根 恵子	常陸大宮市健康推進課母子保健G課長補佐(保健師)(令和2年度)【健康づくり・ヘルスロード関係】
委員	坏 眞由美	常陸大宮市健康推進課母子保健G課長補佐(保健師)(令和3年度)【健康づくり・ヘルスロード関係】

9 各種委員会

2)第1回 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会（令和2年12月）

1. 市長挨拶
2. 委嘱状交付
3. 委員長，副委員長の選出
4. 計画概要の説明

3)第2回 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会（令和3年3月）

1. 市民ワークショップ（令和3年2月27日開催）の結果報告
2. 各委員による検討内容，意見の発表（意見の詳細については資料編を参照）

主な意見

- ・子どもの遊び場としての全天候型公園の整備
- ・都市公園と子育て支援施設が融合した「新しい公園」づくり
- ・子どもたちを遊ばせたり，お茶を飲んでゆっくりしたりできる場所
- ・駅を利用する学生が親の迎えを待つスペース
- ・明るく入りやすい，清潔なトイレ
- ・車いす，ベビーカーでもゆっくり散歩できるスペース
- ・かまどベンチやマンホールトイレなどの設置
- ・防災訓練ができるスペース
- ・気軽に立ち寄れる軽食喫茶スペース
- ・地元産品を使用した食事やスイーツを提供するレストラン・カフェの設置
- ・キッチンカーが常設できるスペース
- ・イベントができる広場
- ・水遊びができる場所，噴水など
- ・ドッグランの設置，ペット連れ可能な施設
- ・幼児が遊べる室内空間，おむつ替えスペース，授乳室の設置
- ・死角がなく，見通しのよい環境，夜間の安全性確保
- ・Wi-Fi環境，インターネットができるパソコン環境，充電スポット
- ・ドクターヘリや災害時の物資搬入ができるヘリポート
- ・レンタルスペース，市民講座ができる施設
- ・複合遊具，健康遊具の設置



4)第3回 常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会（令和3年5月）

1. ワークショップの開催

・ワークショップの概要

「常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会」の委員を対象に、「子育て支援に目を向けた交流拠点」、「駅前という立地を活かした新たな魅力づくり」をテーマとして、意見交換を行いました。

・ワークショップの内容

A～Dの4つのグループに分かれ、以下の3つのコンセプトに基づき、意見を出し合い、アイデアをまとめました。

- ① にぎわいの創出 :～みんなが集まる、子育て支援や多世代交流の場～
- ② インクルーシブ・パークの整備:～誰もが一緒に楽しく過ごせる場～
- ③ 防災機能の充実 :～いざという時、さまざまな役割を担う場～

2. 主な意見・アイデア

①公園の外部空間について

- ・自然とのふれあいや、水や植物の緑など安らぎや季節を感じられる公園
- ・みんながりフレッシュできる場所
- ・芝生の広場
- ・雨の日でも遊べる・利用できる公園
- ・大きな屋根で日除けできる場所
- ・水遊びのできる場所
- ・イベントが開催できる公園
- ・フリーマーケットスペース（電源・水道・テント）
- ・キッチンカー・移動販売カースペース（電源・水道）

②屋外施設・機能について

- ・大きな屋根のある遊具などで遊べるスペース
- ・子どもの遊びを見守れる、リラックスできる木陰のベンチ
- ・噴水のある水遊びスペース
- ・ウォーキングコース・ランニングコース
- ・ヘルスロードと結び付けた公園
- ・サッカーやバスケットなどのボール遊びができる広場
- ・子どもが飛んだり跳ねたりできるトランポリンの様な遊具

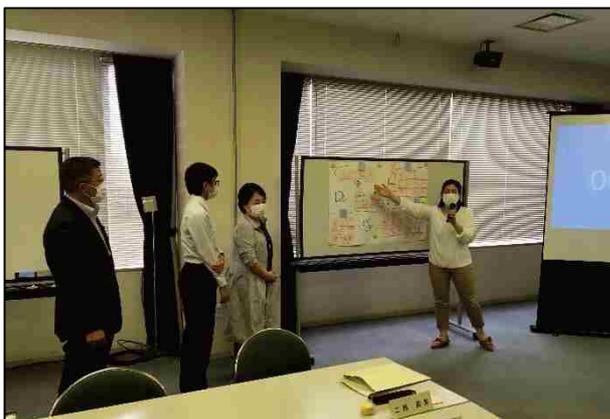
9 各種委員会

③建物施設・機能について

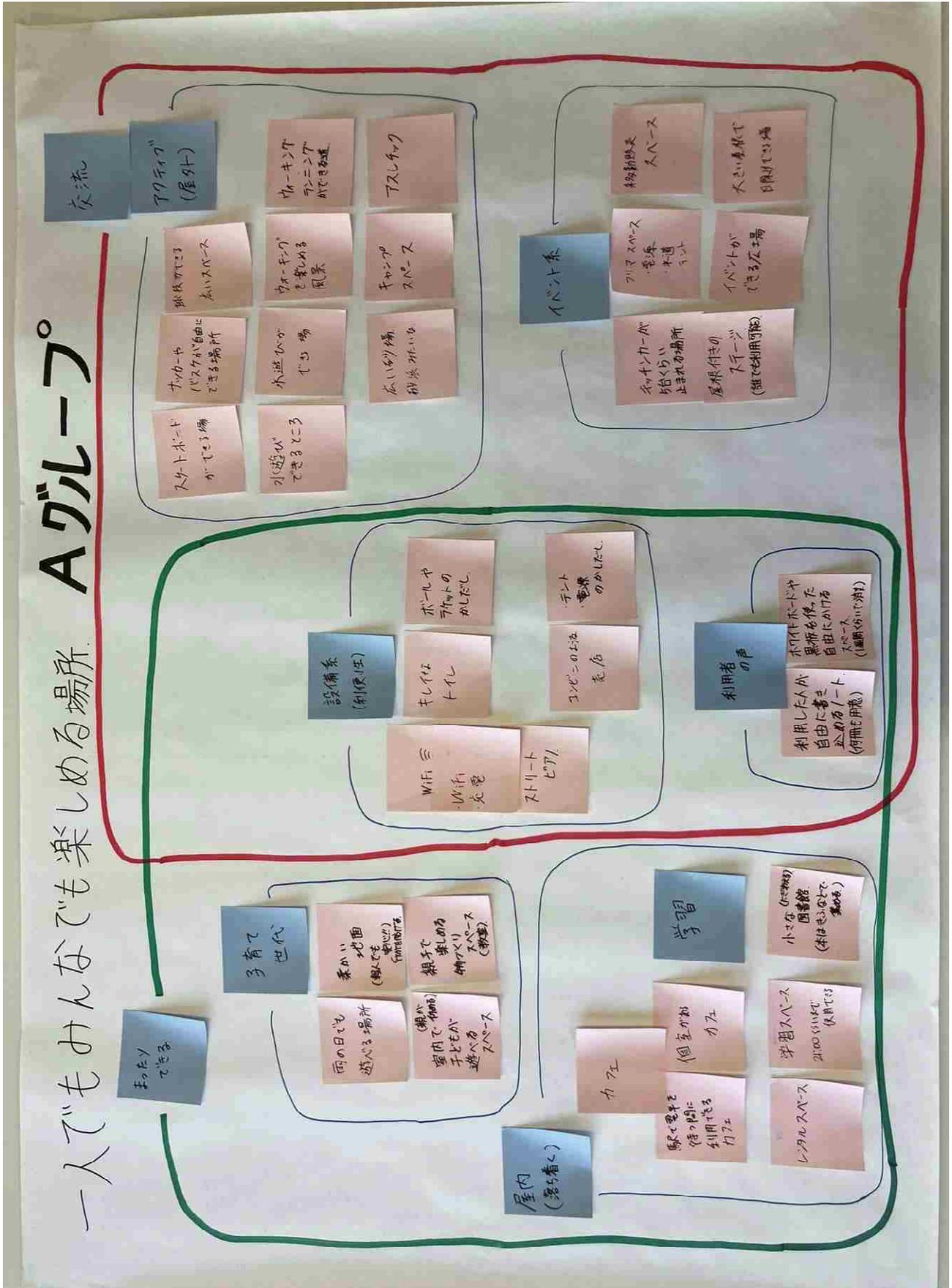
- ・カフェなど休憩できる場所
- ・コンビニ
- ・食べ物などが買える店
- ・飲食できるお店（地元のお店・スタバ）
- ・子どもや学生のための静かな学習・自習スペース
（電車の待ち時間などに利用できる）
- ・きれいなトイレ
- ・親子トイレ
- ・料理・着付けなどの教室
- ・親子で楽しめるものづくりスペース
- ・キッズルームと親の休憩スペース
- ・Wi-Fi環境や充電設備

④ 防災面、安全面について

- ・だれもが安心して利用できるインクルーシブ・パーク
- ・柔らかい安全な床材を使用した屋外の遊び場やウォーキングコース
- ・夜間も明るく安心して利用できる公園
- ・外灯や防犯カメラの設置
- ・衛生的に利用できる手洗い場，水飲み場
- ・災害用自動販売機の設置
- ・災害時に利用できるトイレ



■ Aグループの意見・アイデア



9 各種委員会

■ Bグループの意見・アイデア

The image shows a brainstorming session for a facility, organized into several clusters:

- Top Left Cluster (Blue border):**
 - スペース (Space)
 - リラックス スペース (Relaxation space)
 - 雨の日は市庁舎根元のカーニバルスペース (Carnival space under the city hall on rainy days)
 - 年間通して季節ごとのイベント (Year-round seasonal events)
 - 日頃の足の疲れ (Tired feet from daily activities)
 - 歩きにくい路面 (Difficult to walk on pavement)
 - サイクリングロード (Cycling road)
 - みんなが安心してリフレッシュできる場所 (A place where everyone can relax safely)
 - 夜間照明 (Nighttime lighting)
 - 夜にカラフルなイルミネーションのライトアップ (Colorful light up with neon signs at night)
- Top Middle Cluster (Red border):**
 - 常識も育つ場もある (A place where common sense is also raised)
 - 子どもが安心して遊べる (Children can play safely)
 - お出掛けしやすくなる市街地 (Easy to go out city street)
- Top Right Cluster (Blue border):**
 - 子育ての部屋 (Nursery room)
- Middle Left Cluster (Blue border):**
 - イベント (Event)
 - イベントが定期的に開催可能 (Events can be held regularly)
 - 月に2回程度のようにしてイベント作り (Creating events about twice a month)
- Middle Right Cluster (Blue border):**
 - 軽食がある店 (Cafe with light food)
 - 軽食がある店 (Cafe with light food)
- Bottom Left Cluster (Green border):**
 - 遊具に強い場所 (Strong play equipment area)
 - 災害用自転車販売 (Disaster bicycle sales)
 - 応急救護キット (First aid kit)
 - 災害時の水は流れては (Water flows during disaster)
 - 子どもが遊ぶから緊急時に小型振動機を使う (Use small vibration machine in emergency because children play)
 - 水たまりのできない自主市場 (Waterproof self-market)
- Bottom Middle Cluster (Blue border):**
 - 水で遊ぶ (Play with water)
 - 噴水 (Fountain)
 - 水遊び場 (Water play area)
- Bottom Right Cluster (Red border):**
 - ボールを使った遊び場 (Play area using balls)
 - 安心した水飲み場 (Safe water drinking area)
 - 遊具で遊ぶ (Play with play equipment)
 - 遊具の豊富さ (Abundance of play equipment)
 - 展望台 (Observation deck)
 - 子供が安心して遊べるランランの遊具 (Play equipment where children can play safely)
 - 健康遊具 (Healthy play equipment)
 - 公園でカラフルな (Colorful in the park)
 - 自然遊具 (Natural play equipment)

Bottom Right Title: Bグループ (B Group)

■ Cグループの意見・アイデア

0~6

おどりが 谷さん

屋場 先生

総作 図書スペース

抱っこ 使いたい

噴水 遊具場

屋内 遊具場

7~12

子供が 考えたい

テニスコート

全国花 がいらい何処 桜公園

Cグループ

13~18 一番利用が 年れ層 馬近くに交流 スペースが欲しい

屋場の 広場

ある空間

自習 スペース (バスカ)

飲食 カフェ (パン作り) ショップ

趣味 (たばこ)

建物 休む場所

19-25

コンビニ

インスタ 喫茶

外の スペース (外で草刈) 人

26~35

親子の 合気道

併設されている カフェ

健康相談 観光 同遊

防犯 スペース 屋外、夜間

バレー

屋敷 芝

宿泊 施設

36~60

健康相談 (自転車)

運動公園

カレッジ スペース

屋敷の 球室 (麻雀)

テニス スペース

市役所

おどりが 谷さん

61~墓場まで

健康相談 生かす

健康器具

多世代 (老人社会) スペース

いよいよ立寄る 健康増進の 居場所がほしい

おどりが 谷さん

(2)常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会

常陸大宮駅周辺整備事業を円滑に推進するため、関係各課長職から構成される常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会を組織し、協議及び検討しました。

1)第1回 常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会（令和2年7月）

常陸大宮駅周辺整備計画の進捗状況，事業内容について説明を行いました。

2)第2回 常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会（令和2年10月）

常陸大宮駅西交流拠点化構想のA～D案の4案について検討し、「公園」を主体とした整備を行うことを確認しました。

交流拠点に設置しない施設・機能などは、別途「大宮高台地域のまちづくり」において、今後も協議を継続していきます。

3)第3回 常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会（令和3年3月）

1. 市民ワークショップ(令和3年2月27日開)の結果について報告を行いました。
2. 第2回常陸大宮駅西交流拠点基本計画策定委員会の意見・検討内容について協議しました。

4)常陸大宮駅周辺整備事業庁内検討委員会意見把握（令和3年4月）

1. 常陸大宮駅西交流拠点の整備において掲げている「3つのコンセプト」について、庁内各課による横断的な意見の把握を行いました。

2. 主な意見

①「にぎわいの創出」について

- ・多種多様な活動できる親しみのある施設
- ・コミュニティカフェ(特に女性の意見を取り入れた居心地の良い公共空間)
- ・市の情報発信機能
- ・目を引くようなモニュメントなどの設置
- ・いつでも子どもの声と親子のふれあう姿がある施設の整備
- ・雨天時でも遊べる施設
- ・ペットと共に遊べる公園（ドッグランの設置）

②「インクルーシブ・パーク」について

- ・若者・女性の視点だけでなく高齢者・障がい者にも配慮
- ・大きなトランポリンなどたくさんの子どもと一緒に遊べる遊具の設置
- ・障がい者の園児なども気軽に利用できるような複合遊具の設置
- ・五感を養うための遊具，設備の工夫

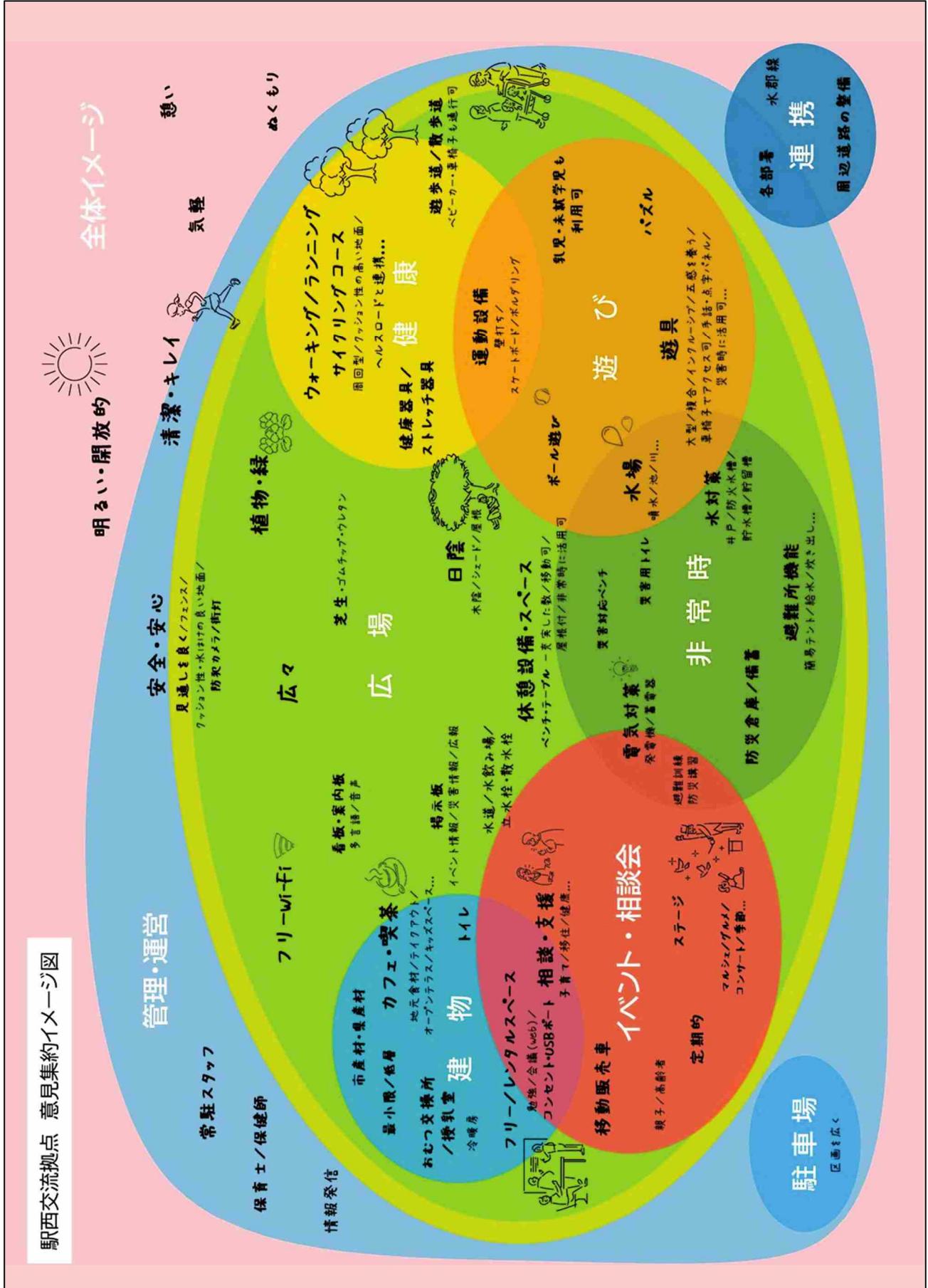
③「防災機能の充実」について

- ・市民参加型の防災訓練などが実施できる公園
- ・遊具やベンチを防災訓練や災害時に共有して使用
- ・防災井戸，簡易備蓄倉庫などの設置

④その他

- ・地場産材の活用

■ 駅西交流拠点 意見集約イメージ



10 交流拠点整備の進め方

1) 常陸大宮駅西交流拠点整備スケジュール

常陸大宮駅西交流拠点は、新駅舎の建設や駅前広場の整備、周辺の都市計画道路の整備と連携し、令和7年度の完成を目指します。

関連するこれらの整備と工事スケジュールを調整し、近隣住民の日常生活や駅舎の利用に対して、不便や負担とならないような計画を立てていくことが重要となります。

■事業スケジュール（概略工程表）



※現時点での内容であり今後変更となることもあります。

2) 概算工事費

名 称	規格・仕様	工事費(千円)
交流施設	210㎡, 多目的室・カフェ	84,200
トイレ棟	40㎡, 男・女・多目的	33,000
遊具広場大屋根	1,200㎡	239,400
ガラス回廊	250㎡, ガラス屋根	43,200
建築物 小計		399,800
遊 具	インクルーシブ遊具・ふわふわドーム	62,000
外構工事	芝生広場・じゃぶじゃぶ池・ファニチャー 防災施設(かまどベンチ・マンホールトイレ等) サイン・外構・植栽	326,000
工事価格	(諸経費含む)	787,800
消費税	10%	78,780
合 計		866,580

※概算工事費については、イメージした機能を全て配置した場合の想定される金額となっております。
今後の実施設計で内容を精査し進めてまいります。

3) 施設管理・運営の手法

交流拠点施設の管理運営体制については、市の直営のほか指定管理者制度やPFI方式(BTO方式など)、リース方式などの官民連携の手法が考えられます。また、利用者の立場に立った柔軟な運用を図るため、地域住民や各種団体との協働による管理運営など、施設の特性に応じた適切な管理体制の構築を検討します。今後、交流拠点に設ける施設について、具体的な方向性が定まった段階で、詳細な検討を進めてまいります。

■管理運営手法の例

手法名	根拠法	事業期間目安	特徴
指定管理者制度	地方自治体	3～5年程度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者などの人的資源やノウハウを活用した施設の管理運営の効率化(サービス向上, コスト縮減)を主な目的とする。 ・一般的には施設整備を伴わず, 事業者は公園全体の運営維持管理を実施する。
PFI方式	PFI法	10～30年程度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の資金, 経営能力などを活用した効率的かつ効果的な社会資本の整備, 低廉かつ良好なサービスの提供を主な目的とする。 ・都市公園ではプールや水族館などの大規模な施設で活用が進んでいる。
BTO方式	PFI法	15～20年程度	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI方式の一つ。民間事業者が自らの資金で対象施設を建設し, 建設完成後直ちに公共団体などに施設の所有権を譲渡し, その後, 事業期間終了まで対象施設の管理運営を行う方式。
リース方式	—	15～20年程度	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者が資金調達から設計・建設, 維持管理などの業務をトータルで行い, そのサービス対価をリース料として受け取る契約の仕組み。 ・初期投資を抑え費用を平準化することができる。
その他 (DB方式, DBO方式等)	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者に設計・建設などを一括発注する手法(DB)や, 民間事業者に設計・建設・維持管理・運営などを長期契約などにより一括発注・性能発注する方法(DBO)などがある。

常陸大宮駅西交流拠点基本計画

令和4年3月

発行：常陸大宮市

編集：常陸大宮市建設部駅周辺整備推進課

〒319-2292 常陸大宮市中富町3 1 3 5番地の6

電話 0295-52-1111（代表）

URL <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



常陸大宮市